

基礎目標	幸せを感じる暮らしをつくる	第1四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	「幸せな暮らしとを感じる人」の割合	%	82.0	86.8	89.1	+3.9
政策1	①年間出生数（4～3月）	人	109	110	（4～6月）18	+2
	②人口の社会動態（20～30代）	人	△92	△65	（4～6月）9	+12
政策2	①メタボ予備軍の割合	%	11.1	10.7	14.3	+2.7
政策3	①生活支援組織づくり	組織	0	2	0	±0
	②教室・サロン参加者実人数	人	342	378	337	+76
	③センター新規相談者数	人	21	26	2	±0
	④福祉に関する総合窓口の設置	—	未設置	未設置	未設置	-
政策4	①EV等保有台数	台	49	79	80	+37
	②里山整備個所数	ヶ所	36	41	41	+1
	環境保全実施面積	%	75	78.5	81	+3.1
	③1人1日当たり家庭系ごみ排出量	g	421	370	-	-
	リサイクル率	%	28	31.0	-	-
政策5	①自治会（地区）の防災計画策定	自治会	1	2	2	±0
	②刑法犯発生件数	件	68	61	65	+51
	交通事故発生件数（人身）	件	17	19	11	+4
	特殊詐欺発生件数	件	0	0	0	±0

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①子育て応援手当支給開始：1390/1668世帯 若者定住奨励金申請：10件、家賃補助申請：4件 妊産婦への支援事業の実施。4月から6月までの 出生数18人で、去年同期と比べ2人増。 ②お試し住宅とツアー申請：1件、移住相談：32 件、空き家バンク：登録6件・成約2件、移住支 援金申請：1件</p> <p>2 ①検診対象者への通知送付：3796名、健康デー： 123名、個別栄養相談：77名、個別運動相談：3 名。</p> <p>3 ①民生委員・民生児童委員と町長との懇談会を実 施した。 ②サロン・教室については新型コロナウイルス感 染症の分類が5類に移行されたこともあり、昨年 同期より参加者が増加している。 ③障がい者相談支援センターと相談支援体制の 連携を図り、障がい者のニーズ把握に努めた。 ④生活保護制度の説明や申請受付、自立相談など の支援を行った。</p> <p>4 ①太陽光発電、蓄電池充電設置、V2H、バイオマ スストーブ等、省エネ家電製品購入費補助金の申 請受付開始。 ②前沢町有林の山ザクラの生育について、現地確 認を実施した。 ③生ごみ処理事業：家庭系50t（全83t）エコ 土曜日を4月と6月に実施した。</p> <p>5 ①地区防災計画を策定しているのは、生田目と新 町の2自治会。 ②交通安全教室：25回 防犯灯設置：9基 （蛍光灯→LED4基・新規4基・撤去1基）特 殊詐欺対策電話機購入：8件 免許返納：7件</p>	<p>1 ①子育て応援手当の申請は順調であるが、未申請 者には8月にお知らせ版、9月には再通知を行 う。奨励金・補助金については引き続き両制度の 周知に努める。 ②移住検討者への寄り添った支援を行い、着実に 移住へと繋げていく。空き家については、登録の 充実のため優良物件の掘り起こしに務める。</p> <p>2 ①検診の受診率向上のための勧奨を行うと共に、 運動や栄養を学ぶ機会を充実させ健康意識を高 めていく。</p> <p>3 ①地域福祉計画等の策定を進め、地域ぐるみの生 活支援事業について考えていく。 ②社会福祉協議会等と連携し、高齢者サロンやい きいきクラブ、シルバー人材センターの活動の 支援を継続していく。 ③障がい福祉サービスに関する地域資源が不足 しているため、対応策を検討する。 ④福祉に関する相談業務の状況把握し、総合窓口 設置に向けての体制を検討していく。</p> <p>4 ①太陽光発電パネルや蓄電池等の次世代エネル ギー利用の設置補助を継続し、次世代エネルギ ーの利用を推進する。 ②森林環境譲与税を活用した新規事業（乳幼児 に向けた木製品贈呈事業）を実施する。 ③新たに回収品目とした、製品プラスチックの回 収がリサイクル率向上に繋がるよう周知する。</p> <p>5 ①目標は達成しているが、新たな自治会を増やせ るよう支援を実施する。 ②犯罪や交通事故発生の抑制のため、青色防犯パ トロールと交通安全教室を継続して実施する。 スクールガードの新規登録者を確保する。</p>

基礎目標	幸せを感じる暮らしをつくる	第2四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	「幸せな暮らしとを感じる人」の割合	%	82.0	86.8	89.1	+3.9
政策1	①年間出生数（4～3月）	人	109	110	(4-9月)40	+8
	②人口の社会動態（20～30代）	人	△92	△65	(〃)△10	+6
政策2	①メタボ予備軍の割合	%	11.1	10.7	10.3	△1.3
政策3	①生活支援組織づくり	組織	0	2	-	-
	②教室・サロン参加者実人数	人	342	378	343	+77
	③センター新規相談者数	人	21	26	12	+3
	④福祉に関する総合窓口の設置	—	未設置	未設置	未設置	未設置
政策4	①EV等保有台数	台	49	79	80	+37
	②里山整備個所数	ヶ所	36	41	41	+1
	環境保全実施面積	%	75	78.5	81	+5
	③1人1日当たり家庭系ごみ排出量	g	421	370	-	-
	リサイクル率	%	28	31.0	-	-
政策5	①自治会（地区）の防災計画策定	自治会	1	2	2	±0
	②刑法犯発生件数	件	68	61	96	+65
	交通事故発生件数（人身）	件	17	19	16	+4
	特殊詐欺発生件数	件	0	0	0	±0

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①子育て応援手当 1660世帯、2846人、3818万円支給。若者定住奨励金申請：6件、家賃補助申請：4件。4月から9月までの出生数40人で、昨年同期と比べ8人増。</p> <p>②お試し住宅とツアーの申請：1件、移住相談：26件、空き家バンク：登録10件、成約2件。</p> <p>2 ①集団検診：878人、結果説明会：875人、健康デー：121人、個別栄養・運動相談：15人。</p> <p>3 ①地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会を開催した。</p> <p>②地域包括ケアシステム推進のため、在宅医療・介護推進事業の中で多職種研修会を実施した。</p> <p>③芳賀地区自立支援協議会において、県のアドバイザー事業を活用した事業を実施した。</p> <p>④生活保護制度の説明や申請受付、自立相談などの支援を行った。</p> <p>4 ①地球温暖化防止に係る計画策定のため、気候変動対策庁内調整会議及び気候変動推進会議を実施した。</p> <p>②花のまちづくり事業として、コスモス播種作業を7月に行い、8月には、ひまわり祭りを開催し、42,000人の方に来場いただいた。</p> <p>③第1四半期分資源物回収奨励金交付：回収量174t・件数61件・交付金額1,283,200円。生ごみ処理事業：家庭系56t（全88t）</p> <p>5 ①地区防災計画策定を現在策定しているのは生田目・新町の2自治会である。</p> <p>②交通安全教室：15回664人、防犯灯設置：15基（蛍光灯→LED8基・新規7基）、特殊詐欺対策電話機購入補助：9件、免許返納：5人。各小中学校・PTA・スクールガード等による通学路の危険個所の点検を行った。</p>	<p>1 ①子育て応援手当の申請は順調あるが、未申請者に再通知を行う。奨励金・補助金については引き続き両制度の周知に努め、必要に応じて制度の見直し等について検討していく。</p> <p>②移住相談件数が、第1四半期に比べ減少しているので、相談者により添った支援に努めて行く。</p> <p>2 ①健康づくりの為の個別運動教室が盛況であるので、内容の充実を図りながら継続していく。</p> <p>3 ①地域福祉活動計画について素案等を検討する。命の大切さについては、継続して普及啓発を行っていく。</p> <p>②社会福祉協議会と連携し、いきいきクラブからの相談に応じるなど、支援を継続していく。</p> <p>③精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に関する研修会を開催する。</p> <p>④県の制度による、価格高騰重点支援給付金の支払いを継続していく。</p> <p>4 ①臨時交付金を活用した省エネ家電購入補助事業について、事業効果の検証を行う。</p> <p>②アカマツ復活プロジェクトとして小学生の間伐作業や枝打ち体験やアカマツ植栽事業を予定している。木育事業として、本年4月から9月に出生届を出した家族に順次製品を贈呈する。</p> <p>③草葉を回収し生ごみに混ぜて堆肥化する事業を試験的に実施していく。10月には町民向けに生ごみ堆肥化施設の見学会を実施する。</p> <p>5 ①目標は達成しているが、新たな自治会に対して計画策定の働きかけを進める。</p> <p>②交通安全教室については、交通事故防止へ繋がると考えられるので継続して行う。また青色防犯パトロールについても、継続して行うことで犯罪抑制の効果があるので今後も実施していく。</p>

基礎目標	幸せを感じる暮らしをつくる	第3四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	「幸せな暮らしとを感じる人」の割合	%	82.0	86.8	89.1	+3.9
政策1	①年間出生数（4～3月）	人	109	110	(4-12月) 59	+5
	②人口の社会動態（20～30代）	人	△92	△65	(4-12月) 8	+5
政策2	①メタボ予備軍の割合	%	11.1	10.7	10.0	△1.6
政策3	①生活支援組織づくり	組織	0	2	-	-
	②教室・サロン参加者実人数	人	342	378	340	+61
	③センター新規相談者数	人	21	26	14	+4
	④福祉に関する総合窓口の設置	—	未設置	未設置	未設置	未設置
政策4	①EV等保有台数	台	49	79	80	+37
	②里山整備個所数	ヶ所	36	41	41	+1
	環境保全実施面積	%	75	78.5	81	+0.1
	③1人1日当たり家庭系ごみ排出量	g	421	370	-	-
	リサイクル率	%	28	31.0	-	-
政策5	①自治会（地区）の防災計画策定	自治会	1	2	2	±0
	②刑法犯発生件数	件	68	61	139	+87
	交通事故発生件数（人身）	件	17	19	25	+9
	特殊詐欺発生件数	件	0	0	1	±0

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①4月から12月までの出生数59人で去年同期と比べ5人増。11月に婚活イベントが開催され2組のカップル成立。若者定住奨励金申請：2件。 ②お試し住宅とツアー申請：2件、移住相談：53件、空き家バンク：登録4件、成約8件、移住支援金申請1件。</p> <p>2 ①集団検診：1929人、結果説明会：763名、健康デー：140名、個別栄養・運動相談：16名。</p> <p>3 ①地域福祉計画及び地域福祉活動計画の素案を策定し、委員会にて検討を行った。 ②各サロンや自主教室に対し、活動相談や支援を行った。在宅医療・介護連携推進事業の中で多職種研修会や、住民公開講座を実施した。 ③障がい福祉計画・障がい児福祉計画策定委員会を開催した。 ④生活保護制度の説明や申請受付、自立相談などの支援を行った。</p> <p>4 ①電気自動車車を充電できる施設及びEV車等の増を盛り込んだ地球温暖化防止に係る計画の策定をした。 ②森林譲与税を活用した木育事業において、製品の贈呈を開始した。アカマツ復活プロジェクト事業として益子小学校生徒が枝打ち体験をした。 ③第2四半期分資源物回収奨励金交付：回収量148t・件数62件・交付金額1,086,000円。</p> <p>5 ①地区防災計画を策定しているのは、生田目と新町の2自治会。 ②交通安全教室：22回1514人、防犯灯設置17基（蛍光灯→LED8基・新規8基）、特殊詐欺対策電話機購入補助：12件、免許返納：7人。益子町通学路安全対策推進会議を開催し、新たに申請の6か所について現場検証を実施した。</p>	<p>1 ①結婚・妊娠・出産・子育てに対する各種支援策を広く周知する。移住・定住補助事業の奨励金家賃補助金については前年度を上回る実績。引き続き制度の周知に努め定住人口の確保を図っていく。 ②移住相談が伸びているので、相談者に寄り添った支援を行い着実に移住へと繋げていく。</p> <p>2 ①今年度導入の個別栄養・運動教室が好評。内容の充実を図り町民に有益な場の提供をしていく。</p> <p>3 ①地域福祉計画等の策定を基に、地域ぐるみの生活支援事業のあり方について考えていく。 ②県や芳賀郡1市4町、芳賀郡市医師会と協力し、在宅医療・介護連携推進事業について引き続き推進していく。 ③障がいのある方に対する地域ぐるみでのサポート体制について検討していく。 ④国・県の制度の支援を継続していく。価格高騰重点支援給付金（追加給付）の準備を開始する。</p> <p>4 ①環境省が開催する地域再生エネルギーセミナーに定期的に参加し次世代エネルギーについての情報収集に努めていく。 ②小宅東自治会から新規で保全会設立の相談があるので、次年度からの活動開始にむけサポートをしていく。 ③生ごみ処理事業や小型家電・食用廃油の回収等を実施し、リサイクルを促進していく。</p> <p>5 ①舟橋地区の地域防災計画策定会議を開催した。今後は自治会内で詳細を詰め各戸に配布する。 ②犯罪や交通事故発生の抑制のため、青色防犯パトロールと交通安全教室を継続して実施していく。通学路の安全対策について、事業主体ごとの対策の進捗状況の情報共有ができたので、更なる安全対策に努めていく。</p>

基礎目標	幸せを感じる暮らしをつくる	第4四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	「幸せな暮らしと感じる人」の割合	%	82.0	86.8	86.7	△2.4
政策1	①年間出生数（4～3月）	人	109	110	82	+9
	②人口の社会動態（20～30代）	人	△92	△65	△61	△31
政策2	①メタボ予備軍の割合	%	11.1	10.7	11.1	△0.5
政策3	①生活支援組織づくり	組織	0	2	0	±0
	②教室・サロン参加者実人数	人	342	378	339	+60
	③センター新規相談者数	人	21	26	24	+11
	④福祉に関する総合窓口の設置	—	未設置	未設置	未設置	未設置
政策4	①EV等保有台数	台	49	79	101	+21
	②里山整備個所数	ヶ所	36	41	41	±0
	環境保全実施面積	%	75	78.5	81.0	+0.1
	③1人1日当たり家庭系ごみ排出量	g	421	370	434	△10
	リサイクル率	%	28	31.0	27.4	+0.5
政策5	①自治会（地区）の防災計画策定	自治会	1	2	3	+1
	②刑法犯発生件数	件	68	61	145	+90
	交通事故発生件数（人身）	件	17	19	26	+5
	特殊詐欺発生件数	件	0	0	1	±0

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①年間出生数は82人で、前年より9人増加したが年間目標値に届かなかった。ましこココハウスを交流拠点として充実を図るため1～3月にリトミック講座(参加19組)やひなまつりイベント(参加15組)を実施し、施設利用は2,085名となった。若者定住奨励金申請：6件。</p> <p>②お試し住宅とツアー申請：4件、移住相談：56件、空き家バンク：登録5件、成約、移住支援金申請0件。JOINフェアへの出展では22件の相談、県主催のオンライン移住セミナーでは35名の視聴があり、移住検討者に町の魅力を発信できた。企画課・道の駅の年相談件数は130件。</p> <p>2 ①自らの健康意識向上のための普及啓発を行った。集団検診：90人、結果説明会：264名、健康デー：179人、栄養相談：15人、運動相談：5人。</p> <p>3 ①地域福祉計画、活動計画の策定を行った。</p> <p>②サロン・教室の活動内容の相談、支援を行った。</p> <p>③自立支援協議会主催の研修会への参加や、センター職員との情報共有により連携を図っている。</p> <p>④地域福祉計画等の指標に設定した。</p> <p>4 ①電動車は年々所有者が増加傾向にある。気候変動対策推進計画にも公用車EV化のKPIを盛り込んだ。</p> <p>②とちぎ元気な森づくり事業活用による地域団体の支援、子どもたちによるアカマツ復活プロジェクトを継続した。</p> <p>③地域での資源物：回収量は年約686t。草・枯葉の堆肥化試行実施、店舗での油回収ボックス設置の準備等を進めた。</p> <p>5 ①今年度の目標値は達成している。</p> <p>②交通安全教室：19回 防犯灯設置：12基 特殊詐欺対策電話機購入：10件、免許返納：8人。</p>	<p>1 ①結婚・妊娠・出産・及び子育て応援手当等の子育てに対する各種支援策を広く周知する。また、更に子育て環境を整えるにあたり、新たな親子教室（ましこッチ）の実施や産前産後サポート（赤ちゃんDAY）を実施するとともに、他部署との連携により里山を活かした遊びも検討していく。</p> <p>②オンラインサイトを活用し様々な情報発信をすると共に、オーダーメイドツアーなど気軽に申しこみたいと誘導できるような工夫をしていく。</p> <p>2 ①健康づくりのモチベーション維持のために個別栄養相談や健康デーを開催しており好評である。毎回テーマを決め多方面の健康情報発信をしていきたい。また、コミュニケーションによる住民満足度を高めていきたい。</p> <p>3 ①計画を進めていく中でも、地域ぐるみの生活支援事業を引き続き検討していく。</p> <p>②ボランティア中心でも運営継続ができるように研修会実施について検討していく。</p> <p>③障害者福祉センターと連携を図り障害のある方のニーズの把握に努める。</p> <p>④総合窓口（窓口コンシェルジュ）の役割に福祉の窓口としての機能も持たせることを検討する。</p> <p>4 ①公共施設での充電設備設置の検討を実施していく。また、次世代エネルギー利用に関するPRにより町民の環境に対する意識醸成をしていく。</p> <p>②元気な森づくり事業が県において継続されるので、各団体への支援、普及を行っていく。</p> <p>③エコ土曜日での硬質プラリサイクルを本稼働し、ボトルキャップも新規で回収開始する。</p> <p>5 ①防災計画は必要に応じて自治会と修正調整。</p> <p>②犯罪や交通事故を発生させないため、青色防犯パトロール及び交通安全教室は、継続して実施。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】		課局名	企画課				
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	若者や子育て世代を応援するまちの実現				
施策	みんなで子育てするまちの実現	進捗状況	100%				
関連する優先目標	1「子供を育てたいまち」	関連するSDGs	—				
KPI	年間出生数(4~3月)	本年度目標値	110	現状値	82人	対前年同期比	+9
KPI		本年度目標値		現状値		対前年同期比	
KPI		本年度目標値		現状値		対前年同期比	
		①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果		
主な取組内容	4月	⑤両制度の周知・広報と交付事務	・奨励金【申請:4件】 ・家賃補助【申請:2件】				
	5月		・奨励金【申請:1件】 ・家賃補助【申請:1件】				
	6月		・奨励金【申請:5件】 ・家賃補助【申請:1件】 ・不動産情報Webサイトの運営事業者に益子町の支援制度について情報提供を行い、おすすめの移住先としてご紹介いただいた。 ・県主催のオンライン移住セミナーにて両制度のPRを行った。				
	7月		・奨励金【申請:2件】 ・家賃補助【申請:0件】				
	8月		・奨励金【申請:2件】 ・家賃補助【申請:2件】 ・不動産情報Webサイトの運営事業者に益子町の支援制度について情報提供を行い、おすすめの移住先としてご紹介いただいた。				
	9月		・奨励金【申請:2件】 ・家賃補助【申請:2件】				
	10月		・奨励金【申請:1件】 ・家賃補助【申請:0件】				
	11月		・奨励金【申請:1件】 ・家賃補助【申請:0件】				
	12月		・奨励金【申請:0件】 ・家賃補助【申請:0件】				
	1月		・奨励金【申請:2件】 ・家賃補助【申請:0件】				
	2月		・奨励金【申請:3件】 ・家賃補助【申請:0件】				
	3月		・奨励金【申請:1件】 ・家賃補助【申請:0件】				

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>奨励金については、前年度より早いペースで申請を受け付けている。家賃補助についても、新規の申請が2件あり、制度の周知が進んできていると言うことができる。</p> <p>引き続き両制度の周知に努めるとともに、家賃補助については令和4年度までに対象となった今年度の対象者の申請に向け、周知を進めたい。また、必要に応じて交付条件等の制度見直し等について検討したい。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>奨励金については、前年度同時期と同様に早いペースで申請を受け付けている。家賃補助については、前年度からの継続申請を3件、新規申請を1件受け付けており、前年度の総申請件数を上回った。</p> <p>引き続き両制度の周知に努めるとともに、必要に応じて交付条件等の制度見直し等について検討したい。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>奨励金については、申請のペースは鈍化したものの、前年度同数の申請実績となっており順調である。家賃補助については、新たな申請はなかったが、前年度を上回る実績となっている。</p> <p>引き続き両制度の周知に努めるとともに、必要に応じて交付条件等の制度見直し等について検討したい。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期含 )</p>	<p>奨励金については、年度終盤に申請件数が伸び、前年度と同数の申請件数となった。家賃補助については、新たな申請はなかったが、前年度を上回る実績となった。</p> <p>引き続き両制度の周知に努めるとともに、必要に応じて交付条件等の制度見直し等について検討したい。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>継続性について                      A:このまま継続                      B:改善・見直し ○                      C:廃止・終了</p> <p>意見・提言                      現在の制度の周知、PRを継続しつつも、若年定住者が住み続けられるようなまちづくりを町全体で進めていくことをお願いしたい。</p>	<p>制度利用者等へのアンケート等により、若者の定住に関するニーズの掘り起こしを行い、各課情報共有することにより、町全体として政策検討を行っていく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	健康福祉課				
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	若者や子育て世代を応援するまちの実現				
施策	みんなで子育てするまちの実現	進捗状況	100%				
関連する優先目標	1「子供を育てたいまち」	関連するSDGs	—				
KPI	年間出生数(4～3月)	本年度目標値	110	現状値	82人	対前年同期比	+9
KPI		本年度目標値		現状値		対前年同期比	
KPI		本年度目標値		現状値		対前年同期比	
		①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果		
主な取組内容	4月	①益らしい自然を活かした遊びの検討			①小宅古墳群花畑にて竹馬乗り、弓矢体験 ④親子ヨガ4/12(5組)利用者:620人(うち自習室:6人) ファミサポ利用会員の登録(1組)、利用実数(2件) ⑤子育て応援手当対象者リスト作成		
	5月	②学童期からの思春期教室の検討 ③出会いイベント等の検討 ④ましココハウスの充実			④乳幼児リトミック講座5/15(7組)利用者:650人(うち自習室:8人) ⑤子育て応援手当申請書発送 1668世帯 2,864人 3,826万円		
	6月	⑤子育て応援手当等による支援			③社協婚活イベント委託 6/25 カップル3組 結婚サポーター研修 6/20参加(5名、うち2名事務局) ④親子ヨガ6/14(9組)利用者:768人(うち自習室:23人) ファミリーサポート利用会員の登録(2組) ⑤子育て応援手当支給開始(別監申請:4世帯6人10万) 実績:1,390世帯83%、2,472人86%、3,350万円87%		
	7月	①益らしい自然を活かした遊びの検討 ②学童期からの思春期教室の検討			③結婚相談連絡協議会開催 7/10 ④リトミック講座7/10(9組)、5周年記念7/29(20組)子育て支援隊・食改協力 利用者:906人(うち自習室:20人) ⑤子育て応援手当支給 実績:1,565世帯93%、2,720人94%、3,671万円95%		
	8月	③出会いイベント等の検討 ④ましココハウスの充実			③結婚相談連絡協議会開催 8/8、8/30 広域8/17 ④親子ヨガ8/29(7組)利用者:813人(うち自習室:0人) ⑤子育て応援手当支給 実績:1,610世帯96%、2,777人96%、3,733万円97%		
	9月	⑤子育て応援手当等による支援			④リトミック講座9/11(9組)利用者:704人(うち自習室:18人) ファミリーサポート利用会員の登録(1組) ⑤子育て応援手当支給 実績:1,660世帯99%、2,846人99%、3,818万円99%		
	10月	①益らしい自然を活かした遊びの検討 ②学童期からの思春期教室の検討			③結婚相談連絡協議会開催 10/19(イベント打合せ) 町協議会婚活イベント委託 10/29(カップル2組) ④親子ヨガ10/11(8組)、ハロウィンイベント10/12(15組)利用者:712人(うち自習室:28人) ⑤子育て応援手当支給 実績:1,663世帯99%、2,860人99%、3,825万円99%		
	11月	③出会いイベント等の検討 ④ましココハウスの充実			②田野中学校思春期教室11/28(生徒36名,教員5名) ③結婚相談連絡協議会開催 11/28(イベント振り返り) 芳賀地方結婚相談員講演会 11/28(8名参加) ④リトミック講座11/13(10組)利用者712人(うち自習室:40人)		
	12月	⑤子育て応援手当等による支援			②特別支援学校 自分未来学12/5(生徒25名,教員6名) ④クリスマス親子ヨガ12/14(9組)利用者592人(うち自習室:32人)		
	1月	①益らしい自然を活かした遊びの検討 ②学童期からの思春期教室の検討			④リトミック講座1/15(10組)利用者709人(うち自習室:27人)		
	2月	③出会いイベント等の検討 ④ましココハウスの充実			④ひなまつりイベント実施(食改さん協力)2/29(15組) 親子ヨガ2/15(9組)利用者622人(うち自習室:27人)		
	3月	⑤子育て応援手当等による支援			③結婚相談連絡協議会開催3/26 ④リトミック講座3/18(9組)利用者754人(うち自習室:24人) ⑤益子町子育て応援手当支給事業実施要綱の一部改正		

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>③社協主催婚活イベントを委託。藍染体験による婚活イベントにて3組成立。後期においてもイベント開催予定。結婚相談連絡協議会は、7月以降に開催予定。今後の活動日程、内容等を会議で検討する。</p> <p>④ましココロハウスの利用制限を10組→15組へ増加し、コロナ禍前の組数に変更した。今後も、利用者のニーズを見据えたい。ファミリーサポートについて広報紙「広報ましこ」に掲載後、利用会員の登録が増え、「提供会員に募集します」と多数の反響をいただいた。今後は、提供会員になるために必要な「子育て支援員研修受講」について周知を行う。</p> <p>⑤応援手当の申請は83%と順調。今後は、高校生のいる世帯が主に申請。8月に「お知らせ版」にて周知を行い、9月には、未申請者に再通知する。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>③結婚相談連絡協議会主催の出会いイベントの開催を 10/29(日)りんご狩り と決定をした。開催に向けて、会議を開催し、内容等の打ち合わせを行った。チラシを作成し、参加者募集を広報紙や町SNS・HP、未来クラブHPなどを通して周知した。今後もイベント開催に向けて打ち合わせ会議等を行い、準備を進めたい。令和5年度芳賀地方広域結婚相談員の打合せを行い、11月に相談員を対象に講演を開催する予定。</p> <p>④ましココロハウス5周年イベントを開催し、ゲームやワークショップ等を行った。好評におわる事ができた。子育て支援員研修が県より周知があり、町HPや保育園等に周知した。今後、研修を受講を通して、ファミリーサポートの提供会員の確保につなげたい。</p> <p>⑤子育て応援手当申請は順調。9月中旬には未申請者に再通知したところ、申請が増えた。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>②について、学校において思春期教室を実施した。次期以降も予定している。</p> <p>③結婚相談連絡協議会主催の出会いイベントを昨年に続き、町内会場にてりんご狩りを開催し、2組のカップルが成立した。イベント終了後は、会議をもち、反省点や改善点などを話し合いを行った。また、芳賀地方結婚相談員講演会を益子町を会場に開催した。当日は、とちぎ結婚支援センター相談員、とちぎ結婚支援コンシェルジュの方より「結婚支援の課題や対応について」「県の結婚支援事業の取組について」話を伺った。今後の活動に活かしていきたい。</p> <p>④ましココロハウスでは、ハロウィンやクリスマスイベントなど開催し、多数の参加をいただいた。</p> <p>⑤子育て応援手当は、精算が未済で申請を受け付けることができたため支給した。次期には精算したい。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①については、具体的に実施できなかった。今後、他課との協同を検討したい。</p> <p>②各学校にて思春期教室を実施することができた。次年度はスタッフの知識の更新を行い更に伝わりやすい思春期教室の実施を行う。</p> <p>③婚活イベント委託(2回)を実施することができたが、参加申込数が減少等傾向にあり、実施を見送ったところもある。来年度以降も婚活イベントの委託を継続し、出会いの場の提供をしていきたいが、参加申込数が増えるようなより魅力あるイベント等を企画するように努めていきたい。結婚相談連絡協議会については、ここ数年実績がほぼゼロに近い状況であるため、次年度以降は実施方法等について検討したい。</p> <p>④従来の親子ヨガ、リミック等イベントを継続し、R6年度は新規事業として親子教室(ましコッチ)と産前産後サポート事業(赤ちゃんDAY)をし、より充実をはかりたい。</p> <p>⑤子育て応援手当は、例年通り6月に実施し、令和5年度精算は終了した。令和6年度にむけて、支給対象者・支給額等の要綱の一部改正を実施したので、次年度は周知に努めながら実施する。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>継続性について                      A:このまま継続                      B:改善・見直し ○                      C:廃止・終了</p> <p>意見・提言                      社会福祉協議会として婚活イベント開催の委託を受けているが、女性の参加者が減少していてイベント開催も難しい状況である。少子化対策としてイベントの開催が適当なのかどうか、今後検討をしていく必要があると感じている。</p>	<p>令和6年度については、現在の若者の特徴や結婚についての考え方を改めて見つめなおすため、婚活イベントの開催は中止し、県の結婚相談支援員を活用した結婚相談員向けの講習会を実施する。また、講習会で得たものを活かした結婚相談会の実施を検討する。</p>

シート1【 計画・実施状況シート 】

課局名		学校教育課					
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	若者や子育て世代を応援するまちの実現				
施策	みんなで子育てするまちの実現	進捗状況	100%				
関連する優先目標	1「子供を育てたいまち」	関連するSDGs	—				
KPI	年間出生数(4~3月)	本年度目標値	110	現状値	82人	対前年同期比	+9
KPI		本年度目標値		現状値		対前年同期比	
KPI		本年度目標値		現状値		対前年同期比	
①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果					
主な取組内容	4月	なし					
	5月	思春期教育 ②「自己理解の吟味」の学習を学活にて実施 益子中(5月) ②「男女の理解と助け合い」の学習を学活にて実施 益子中(6月)	②「自己理解の吟味」の学習を学活にて実施 益子中(5月)				
	6月	②「男女が協力する社会」の学習を学活にて実施 七井中(6月) ②「すばらしい命」の学習を家庭教育学級にて実施 田野小(6月) ②「体の成長とわたし」の学習を体育にて各小で実施 (6月) ②「不安の悩みの解決にむけて」の学習を学活で実施 田野中(6月)	②「男女の理解と助け合い」の学習を学活にて実施 益子中(6月) ②「男女が協力する社会」の学習を学活にて実施 七井中(6月) ②「すばらしい命」の学習を家庭教育学級にて実施 田野小(6月) ②「体の成長とわたし」の学習を体育にて各小で実施 (6月) ②「不安の悩みの解決にむけて」の学習を学活で実施 田野中(6月)				
	7月		⑤児童200円/月、生徒400円/月 4~6月分の補助 延べ人数 4,794人 1,308,400円 物価高騰分として 児童・生徒 200円/月 4~6月分の補助 延べ人数 4,806人 961,200円				
	8月	②「成長していく心と体」の学習を学活で実施 益子中(7月) ②「男女の理解と助け合い」の学習を学活にて実施 七井中(7月) ②「男女の特性」に関する学習を学活にて実施 田野中(9月) ②「男女が協力する社会」の学習を学活にて実施 田野中(9月) ⑤子育て世帯への支援 学校給食費の補助	⑤児童200円/月、生徒400円/月 7月分の補助 延べ人数1,599人 436,400円 物価高騰分として 児童・生徒 200円/月 7月分の補助 延べ人数 1,600人 320,000円 保護者負担軽減分として 児童・生徒 1,000円/月 7月分の補助 延べ人数 1,602人 1,601,690円				
	9月		②「男女の特性」に関する学習を学活にて実施 田野中(9月) ②「男女が協力する社会」の学習を学活にて実施 田野中(9月)				
	10月	②「男女の体の変化」の授業を学活にて実施 七井小(11月) ②「不安や悩みを解決しよう」の学習を学活にて実施 益子中(11月) ②「心身の機能の発達と心の健康」の学習を保健にて実施 七井中(11月) ②「私たちの悩みや不安」の学習を学活にて実施 七井中(11月) ②「不安や悩みの解決に向けて」の学習を学活にて実施 七井中(11月) ②「わたしたちの悩みや不安」の学習を学活にて実施 益子中(11月) ②「生命誕生」の授業を学活にて実施 七井小(12月) ②「思春期教室(生命誕生)」の授業を学活にて実施 田野中(12月)	⑤児童200円/月、生徒400円/月 9月分の補助 延べ人数1,587人 432,200円 物価高騰分として 児童367円/月、生徒387円/月 9月分の補助 延べ人数 1,593人 596,211円 保護者負担軽減分として 児童・生徒 1,000円/月 9月分の補助 延べ人数 1,595人 1,594,260円				
	11月	②「わたしたちの悩みや不安」の学習を学活にて実施 七井中(11月) ②「わたしたちの悩みや不安」の学習を学活にて実施 益子中(11月) ②「生命誕生」の授業を学活にて実施 七井小(12月) ②「思春期教室(生命誕生)」の授業を学活にて実施 田野中(12月)	⑤児童200円/月、生徒400円/月 10月分の補助 延べ人数1,585人 431,400円 物価高騰分として 児童367円/月、生徒387円/月 10月分の補助 延べ人数 1,588人 594,256円 保護者負担軽減分として 児童・生徒 1,000円/月 10月分の補助 延べ人数 1,590人 1,590,000円				
	12月	②「わたしたちの悩みや不安」の学習を学活にて実施 田野中(12月) ⑤子育て世帯への支援 学校給食費補助	⑤児童200円/月、生徒400円/月 11月分の補助 延べ人数1,587人 431,400円 物価高騰分として 児童367円/月、生徒387円/月 11月分の補助 延べ人数 1,590人 594,970円 保護者負担軽減分として 児童・生徒 1,000円/月 11月分の補助 延べ人数 1,592人 1,592,000円				
	1月		⑤児童200円/月、生徒400円/月 12月分の補助 延べ人数1,587人 431,400円 物価高騰分として 児童367円/月、生徒387円/月 12月分の補助 延べ人数 1,590人 594,970円 保護者負担軽減分として 児童・生徒 1,000円/月 12月分の補助 延べ人数 1,592人 1,592,000円				
	2月	②「私の誕生」の学習を学活にて実施 益子西小(1月) ② 思春期教室を実施 七井中 (1月) ②「男女の体と心の変化」の学習を学活にて実施 益子西小(1月) ②「心身の発達と心の健康」の学習を保健で実施 田野中(1月) ②「いのちの大切さを学ぼう」の学習を思春期教室にて実施 益子小(2月) ⑤子育て世帯への支援 学校給食費の補助	⑤児童200円/月、生徒400円/月 1月分の補助 延べ人数1,585人 430,400円 物価高騰分として 児童367円/月、生徒387円/月 1月分の補助 延べ人数 1,587人 593,809円 保護者負担軽減分として 児童・生徒 1,000円/月 1月分の補助 延べ人数 1,589人 1,589,000円				
	3月		⑤児童200円/月、生徒400円/月 2~3月分の補助 延べ人数3,170人 823,600円 物価高騰分として 児童367円/月、生徒387円/月 2~3月分の補助 延べ人数 3,171人 1,186,457円 保護者負担軽減分として 児童・生徒 1,000円/月 2~3月分の補助 延べ人数 3,175人 3,175,000円				

	<p>③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>②学校の性教育の計画に従い、思春期教育を実施することができた。 関係機関との連携を図ったり、資料の提供を行ったりすることで、効果的な学習ができるよう支援する。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>②学校の性に関する指導の計画に従い、思春期教育を実施することができた。養護教諭がT2として授業に参加する学校の実践があった。 関係機関との連携を図ったり、資料の提供を行ったりすることで、効果的な学習ができるよう支援する。 ⑤子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため学校給食費の一部と、高騰する食材費の一部の補助を行った。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>⑤子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため学校給食費の一部と、高騰する食材の一部の補助を行った。</p>
<p>総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>⑤子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため学校給食費の一部と、高騰する食材の一部の補助を行った。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>継続性について                      A:このまま継続 ○                      B:改善・見直し                      C:廃止・終了</p> <p>意見・提言                      物価高騰により苦しい生活をされている家庭へは子どもが安心して学校生活を送れるよう(学校給食費など補助の)支援を続けていただきたい。</p>	<p>翌年度も国の交付金をを活用し、保護者の負担軽減を図る。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	企画課						
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる		政策	若者や子育て世代を応援するまちの実現					
施策	若者のUJターンへの推進		進捗状況	100%					
関連する優先目標	2「住みたいまち」		関連するSDGs						
KPI	人口の社会動態(20~30代)		本年度目標値	△65	現状値	△61	人	対前年同期比	△31
KPI			本年度目標値		現状値			対前年同期比	
KPI			本年度目標値		現状値			対前年同期比	
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果						
主な取組内容	4月	③オーダーメイドツアーの周知・開催、お試し住宅の運営、新規お試し住宅の情報収集	③お試し住宅【利用:1件】(3月に引き続き)、ツアー【利用:1件】 ④相談【企:1件】【道:9件】 ⑤バンク【登録:2件】【成約:0件】						
	5月	④移住相談の実施、移住・定住ワンストップサイト「ましこの暮らし」の更新 ※ 支援員の設置や受入体制の充実は、基礎目標5政策3施策1において推進	③お試し住宅【利用:0件】、ツアー【利用:0件】 ④相談【企:1件】【道:13件】 ⑤バンク【登録:1件】【成約:1件】 制度案内チラシを固定資産税通知書に同封し送付 ●移住支援金【申請:1件】						
	6月	⑤空き家バンク制度運営 3月実施のアンケート結果を踏まえ登録勧奨 固定資産税通知書に制度案内チラシを同封 ●R1年度開始の地方創生移住支援金※の周知・広報と交付事務 ※ 東京23区の在住者等が、県が運営する企業情報掲載サイトに掲載された求人へ新規就業するなどして県内市町に移住した場合に、国・県・町が支援金を交付する制度	③お試し住宅【利用:0件】、ツアー【利用:0件】 ④相談【企:3件】【道:5件】 ●県主催のオンライン移住セミナーにて町のPR等を行った。 ⑤バンク【登録:3件】【成約:1件】 ・不動産情報Webサイトの運営事業者へ益子町の支援制度について情報提供を行い、おすすめの移住先としてご紹介いただいた。						
	7月	③オーダーメイドツアーの周知・開催、お試し住宅の運営、新規お試し住宅の情報収集	③お試し住宅【利用:1件】、ツアー【利用:0件】 ④相談【企:5件】【道:5件】 ⑤バンク【登録:6件】【成約:1件】						
	8月	④移住相談の実施、移住・定住ワンストップサイト「ましこの暮らし」の更新	③お試し住宅【利用:0件】、ツアー【利用:1件】 ④相談【企:5件】【道:5件】 ⑤バンク【登録:2件】【成約:1件】 ・不動産情報Webサイトの運営事業者へ益子町の支援制度について情報提供を行い、おすすめの移住先としてご紹介いただいた。						
	9月	⑤空き家バンク制度運営	③お試し住宅【利用:1件】、ツアー【利用:0件】 ④相談【企:3件】【道:3件】 ⑤バンク【登録:2件】【成約:0件】						
	10月	③オーダーメイドツアーの周知・開催、お試し住宅の運営、新規お試し住宅の情報収集 3月実施のアンケート結果を踏まえ登録勧奨	③お試し住宅【利用:1件】(9月に引き続き)、ツアー【利用:0件】 ④相談【企:4件】【道:3件】【フェア:13件】 ・10/22県主催の移住フェアで移住相談を行った。 ・新たな移住促進広報誌の作成に着手した。 ⑤バンク【登録:0件】【成約:4件】 ●移住支援金【申請:1件】						
	11月	④移住相談の実施、移住・定住ワンストップサイト「ましこの暮らし」の更新	③お試し住宅【利用:1件】、ツアー【利用:0件】 ④相談【企:3件】【道:17件】【イベント:3件】 ・11/3秋の陶器市にて「ましこ里山手帖」の配布、移住に関するアンケート、移住相談及び町のPRを行った。 ⑤バンク【登録:2件】【成約:0件】						
	12月	⑤空き家バンク制度運営	③お試し住宅【利用:0件】、ツアー【利用:0件】 ④相談【企:3件】【道:8件】 ・12/18渋谷QWSにて関係人口創出イベントを開催 ⑤バンク【登録:2件】【成約:4件】						
	1月	③オーダーメイドツアーの周知・開催、お試し住宅の運営、新規お試し住宅の情報収集	③お試し住宅【利用:1件】、ツアー【利用:0件】 ④相談【企:3件】【道:6件】【フェア:22件】 ・1/13JOIN主催の移住フェアで移住相談を行った。 ・1/21・22無印良品つながる市で町のPR等を行った。 ⑤バンク【登録:2件】【成約:0件】						
	2月	④移住相談の実施、移住・定住ワンストップサイト「ましこの暮らし」の更新	③お試し住宅【利用:1件】、ツアー【利用:1件】 ④相談【企:2件】【道:11件】 ・2/15県主催のオンライン移住セミナーにて町のPR等を行った。 ⑤バンク【登録:1件】【成約:0件】						
	3月	⑤空き家バンク制度運営	③お試し住宅【利用:0件】、ツアー【利用:1件】 ④相談【企:2件】【道:10件】 ・新たな移住促進広報誌が完成した。 ⑤バンク【登録:2件】【成約:0件】						

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;"><b>③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</b></p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>③お試し住宅およびオーダーメイドツアーとも利用者はあったが低調といえるため、移住促進のための具体的な方策として、周知を図り利用を促進したい。</p> <p>④移住相談は、R1年度以降の傾向として道の駅での相談件数が伸びているが、新型コロナウイルス感染症の感染者数等が落ち着いたこともあり、昨年度ほどには至らなかった。移住検討者それぞれに寄り添った支援により、一人ひとりを着実に移住へとつなげていく。 【企画課・道の駅での相談件数(4~6月)】H29:27、H30:25、R1:32、R2:30、R3:58、R4:40、R5:32 ワンストップサイトは随時更新を行ってきた。今後もまちの魅力の発信に資する情報を迅速に掲載していく。 県主催のオンライン移住セミナーでは、過去最大となる44名の視聴者があり(公式参加者数は現段階で未発表)、移住検討者に町の魅力をPRすることができた。引き続き機会の確保に努め、当町への移住検討者の拡大を図っていく。</p> <p>⑤空き家バンクは、R1年度から固定資産税納税通知書にチラシを同封して周知を進めており、申請受付数も伸びているため、一定の成果を上げていると思われる。また、過去に実施した空き家調査を踏まえた登録勧奨(外観により登録の見込みがあると判断した物件の所有者への意向調査及び登録案内)により、昨年度よりも登録件数、相談件数ともに伸びており、次期以降も引き続き登録勧奨に努めたい。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>③お試し住宅およびオーダーメイドツアーとも利用者はあったが低調といえるため、移住促進のための具体的な方策として、工夫して周知を行い、利用を促進したい。</p> <p>④移住相談は、相談件数が第1四半期に比べて減少している。まずは相談しやすい環境を整えるため、オンライン等の活用も検討していきたい。移住検討者それぞれに寄り添った支援により、一人ひとりを着実に移住へとつなげていく。 ワンストップサイトは随時更新を行ってきた。今後もまちの魅力の発信に資する情報を迅速に掲載していく。また、より発信力を高めるため、掲載コンテンツやレイアウトを見直すなどサイトの再構築を検討していきたい。</p> <p>⑤空き家バンクの登録件数は第1四半期に比べ増加しており、堅実に件数を伸ばしている。引き続き過去に実施した空き家調査を踏まえた登録の勧奨に努め、件数を伸ばしていきたい。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>③お試し住宅およびオーダーメイドツアーとも利用者が低調となっているため、第3四半期でも移住フェアやイベント出展時にPRしてきたところだが、引き続き工夫して周知を行い、利用を促進したい。</p> <p>④移住相談は、道の駅での相談件数が第1・2四半期より伸びており、引き続き取組を続けていく。 10月は移住フェアに参加し、昨年の実績を超える13件の相談を受けた。11月は陶器市でブースを設置してお試し住宅およびオーダーメイドツアーの案内、益子町への移住関心アンケートを実施し、180件の回答を得ることができた。また、移住相談も3件を受けた。アンケート結果を移住促進事業に活かすとともに、陶器市出展における有効性の検証や今後出展する場合の来場者へのアプローチ方法等検討していきたい。 ワンストップサイトでは、移住フェアへの参加や陶器市出展について情報発信を行った。 また、新たな移住促進広報誌の作成に着手し、レイアウトの構築や掲載情報の精査を行った。第4四半期での発行に向け、作業を進めていく。 12/18に開催した渋谷QWSでの関係人口創出イベントでは、「益子町と考える私にとっての「ちょうど良い暮らし」って？」と題し、QWS利用者や移住検討者14名の参加があり、益子町での暮らしや移住体験談などを紹介できたほか、参加者が考える「ちょうど良い暮らし」や、益子町に移住することへの課題や魅力について様々な意見を得られた。</p> <p>⑤空き家バンクは、第1・2四半期を超える成約件数となった一方、登録件数は伸び悩んだ。登録物件数を増やすため、自治会での調査に着手するとともに、不動産業者と連携を密にして迅速な対応に努めたい。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>③お試し住宅の利用は昨年度より減少した。次年度はより多くの方に移住体験の機会を提供できるよう制度の工夫を検討したい。オーダーメイドツアーは低迷していたが、年度末に2件実績があった。次年度は利用申請手続きを簡略化するなどの工夫も検討したい。両制度の更なる周知に努め、利用件数を増やしていきたい。</p> <p>④移住相談は企画課・道の駅ともに、昨年度から件数は減少したものの、R2以前と比較すると依然として高い件数を維持した。 【企画課・道の駅での相談件数(4~3月)】H29:98、H30:91、R1:87、R2:127、R3:198、R4:160、R5:130】 JOINフェアに出展し昨年度の実績を超える22件の相談を受けた。つながる市でのPRでは市場調査も行い2日間で296件の回答を得ることができた。調査結果を移住促進事業に活かすとともに、つながる市でのPRにおける有効性の検証や今後も参加する場合の来場者へのアプローチ方法等を検討していきたい。 県主催のオンライン移住セミナーでは、35名の視聴者があり、移住検討者に町の魅力をPRすることができた。引き続き機会の確保に努め、当町への移住検討者の拡大を図っていく。 ワンストップサイトではイベント出展について情報発信を行った。 また、新たな移住促進広報誌が完成したため配布を開始した。次年度も戦略的に配布を行っていききたい。</p> <p>⑤空き家バンクは成約は昨年度と同様の登録数及び成約数を維持できており、制度の周知・活用が進んでいるといえる。次年度は、新たな周知を取り入れながら更なる空き家・空き地の有効活用を更に促進していく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p style="text-align: center;">総括</p>	<p>継続性について                      A:このまま継続 ○                      B:改善・見直し                      C:廃止・終了</p> <p>意見・提言                      相談件数が増加しているため、そこから移住・定住につながるような取り組みを期待したい。</p>	<p>総括(第4四半期含)のとおり進めていく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	生涯学習課						
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	若者や子育て世代を応援するまちの実現						
施策	若者のUIターン推進	進捗状況	100%						
関連する優先目標	2「住みたいまち」	関連するSDGs	—						
KPI	人口の社会動態(20~30代)	本年度目標値	△65	現状値	△61	人	対前年同期比	△31	
KPI		本年度目標値		現状値			対前年同期比		
KPI		本年度目標値		現状値			対前年同期比		
		①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果				
主な取組内容	4月				未実施				
	5月	②令和5年度二十歳のつどい対象者の把握			未実施				
	6月				②令和5年度二十歳のつどい対象者の確認				
	7月				未実施				
	8月	②二十歳のつどい実行委員会の開催			②二十歳のつどい実行委員会 8/12 17名				
	9月				未実施				
	10月				未実施				
	11月	②二十歳のつどい準備 ②若者の移住定住促進に関するアンケートの内容検討及び作成			未実施				
	12月				②二十歳のつどい準備 ②若者の移住定住促進に関するアンケートの内容検討及び作成				
	1月				②二十歳のつどい 1/7 参加者164名 ②若者の移住定住促進に関するアンケートの実施 対象者:二十歳のつどい参加者 回答数:38件				
	2月	②二十歳のつどいの開催 ②若者の移住定住促進に関するアンケートの実施			未実施				
	3月				未実施				

シート2【 四半期検証シート 】

	<p>③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>②Uターン意識の醸成を図る取り組みの検討が必要である。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>②二十歳のつどいの開催に併せ、成人者を対象としたUターン意識についてのアンケートを実施検討。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>②成人者を対象とした移住定住促進に関するアンケートを作成。1月7日の二十歳のつどいの際に実施する。</p>
<p>総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>②二十歳のつどいの際に成人者を対象とした移住定住促進に関するアンケートを行った。回答者は少なかつたものの、25歳同窓会に興味があると答えた方が約7割と高く、関心があることが分かった。今後はアンケート結果を参考にし、若者のUIJターンの推進に繋がる施策を検討する。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>継続性について                      A:このまま継続 ○                      B:改善・見直し                      C:廃止・終了</p> <p>意見・提言                      県外へ出ても、帰省・ふるさを見直すきっかけとなる取り組みを期待する。</p>	<p>二十歳つどい実行委員会等で意見を求め集約し、今後の取り組みを検討する。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	健康福祉課					
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	健康・長寿ましこづくりの推進					
施策	ライフステージに応じた健康づくりの推進	進捗状況	100%					
関連する優先目標	—	関連するSDGs	3健康・福祉					
KPI	メタボリックシンドローム予備軍の割合	本年度目標値	10.7	現状値	11.1 (R6.3)	%	対前年同期比	△0.5
KPI		本年度目標値		現状値			対前年同期比	
KPI		本年度目標値		現状値			対前年同期比	
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果					
主な 取組 内容	4月	①住民健診(特定健診・がん検診)の普及啓発 受診後のフォロー	①4月上旬、健診対象者への個別通知にて、受診勧奨 前年度までの実績による対象者:3,796 新規40歳対象者:234名 肝炎対象者:2,189名 がんクーポン対象:乳(142名)子宮(80名) *対象に合わせ、勧奨通知の工夫を実施 ②健康デー 27名 個別栄養相談 3名 個別運動相談 2名 ③ましこっ身体操の普及啓発(ポスター掲示)					
	5月	②健康意識向上のための普及啓発 (健康デー・個別栄養相談・各種健康教室)	①集団健診5/9(火)94名 5/14(日)95名 5/27(土)69名 ②健康デー 36名 個別栄養相談 3名 個別運動相談 1名 ③ましこっ身体操の普及啓発(ポスター掲示)					
	6月	③運動習慣の定着	①集団健診6/27(水)169名 6/28(水)146名 結果説明会 6/13(火)32名 6/18日)43名 ②健康デー60名(ベジチェック) 個別栄養相談1名 個別運動相談 1名 ③ましこっ身体操の普及啓発(ポスター掲示)					
	7月	①住民健診(特定健診・がん検診)の普及啓発 受診後のフォロー	①集団健診7/5(水)94名 7/14(金)98名 7/22(土)87名 7/29(土)77名 結果説明会 7/1(土)27名 ②健康デー 42名(フレイル予防) 個別栄養相談 4名 個別運動相談 1名 ③ましこっ身体操の普及啓発(ポスター掲示)					
	8月	②健康意識向上のための普及啓発 (健康デー・個別栄養相談・各種健康教室)	①集団健診 8/1(火)102名 8/4(金)58名 8/7(月)82名 8/22(火)100名 結果説明会 8/2(水)AM87 PM63 8/9(水)94名 8/18(金)98名 ②健康デー 39名(間食について) 個別栄養相談 1名 個別運動相談 2名 ③ましこっ身体操の普及啓発(ポスター掲示)					
	9月	③運動習慣の定着	①集団健診 9/24(日)80名 9/26(火)100名 結果説明会9/2(日)87名 9/2(日)77名 9/8(金)AM58名 PM102名 9/11(月)82名 9/26(火) 100名 ②健康デー40名(ましこっ身体操) 個別栄養相談4名 個別運動相談3名 ③ましこっ身体操の普及啓発(ポスター掲示)					
	10月	①住民健診(特定健診・がん検診)の普及啓発 受診後のフォロー	①集団健診10/8(日)176名 10/11(水)179名 10/12(木)152名 10/26(木)140名 10/27日)145名 結果説明会 10/29(日)65名 10/31(火)75名 ②健康デー 58名(骨粗鬆症予防) 個別栄養相談 4名 個別運動相談 0名 ③ましこっ身体操の普及啓発(ポスター掲示)					
	11月	②健康意識向上のための普及啓発 (健康デー・個別栄養相談・各種健康教室)	①集団健診 11/4(土)154名 11/8(水)167名 11/21(火)165名 11/24(金)157名 結果説明会 11/12(日)70名 11/16(木)AM60名 PM86名 11/30(木)AM72名 PM51名 ②健康デー 40名(糖尿病について) 個別栄養相談 3名 個別運動相談 2名 ③ましこっ身体操の普及啓発(ポスター掲示)					
	12月	③運動習慣の定着	①集団健診 12/6(水)148名 12/10(日)163名 12/14(木)167名 12/19(火)16名 結果説明会 12/9(土)61名 12/13(水)85名 12/26(火)AM72名 PM66名 ②健康デー42名(減塩について) 個別栄養相談7名 個別運動相談0名 ③ましこっ身体操の普及啓発(ポスター掲示)					
	1月	①住民健診(特定健診・がん検診)の普及啓発 受診後のフォロー	①集団健診 1/13(土)90名 結果説明会 1/14(日)AM:56名 PM:39名 1/23(火)AM:61名 PM:68名 ②健康デー 72名(ベジチェック) 個別栄養相談 4名 ③ましこっ身体操の普及啓発(ポスター掲示)					
	2月	②健康意識向上のための普及啓発 (健康デー・個別栄養相談・各種健康教室)	①結果説明会 2/17日(土)40名 ②健康デー 56名(フレイル) 個別栄養相談 6名 個別運動相談 3名 ③ましこっ身体操の普及啓発(ポスター掲示)					
	3月	③運動習慣の定着	①結果説明会 毎週月曜日の健康相談時に、随時、結果の返却 ②健康デー51名(減塩について) 個別栄養相談5名 個別運動相談2名 ③ましこっ身体操の普及啓発(ポスター掲示)					

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①②安全に健診が受けられるよう環境調整。また、健診受診を機に、自らの健康に意識をもってもらえるよう、結果説明会時に結果の振り返りを実施。健康の維持増進の為に何をすべきかを専門職と共に考える機会を設けている。 健康づくりのモチベーション維持の為に受け皿として、個別栄養相談、健康デーを開催。住民にも好評である。また、今年度より、運動の個別指導を導入。毎回、盛況である。令和5年度から、健康デーの内容の充実を図り、住民にとって有益な場の提供をしていく。 ③随時、ポスターやチラシの掲示を行っていく。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①②安全に健診が受けられるよう環境調整。また、健診受診を機に、自らの健康に意識をもってもらえるよう、結果説明会時に結果の振り返りを実施。健康の維持増進の為に何をすべきかを専門職と共に考える機会を設けている。 健康づくりのモチベーション維持の為に受け皿として、個別栄養相談、健康デーを開催。住民にも好評である。また、今年度より、運動の個別指導を導入。毎回、盛況である。令和5年度から、健康デーの内容の充実を図り、住民にとって有益な場の提供をしていく。 ③随時、ポスターやチラシの掲示を行っていく。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①②安全に健診が受けられるよう環境調整。また、健診受診を機に、自らの健康に意識をもってもらえるよう、結果説明会時に結果の振り返りを実施。健康の維持増進の為に何をすべきかを専門職と共に考える機会を設けている。 健康づくりのモチベーション維持の為に受け皿として、個別栄養相談、健康デーを開催。住民にも好評である。また、今年度より、運動の個別指導を導入。毎回、盛況である。令和5年度から、健康デーの内容の充実を図り、住民にとって有益な場の提供をしていく。 ③随時、ポスターやチラシの掲示を行っていく。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①②安全に健診が受けられるよう環境調整。 勸奨時の資料は『ナッジ理論』を活用し、対象が自ら関心を持ち、健診受診へと繋がるよう工夫を凝らした。結果としては、前年度と比較し、全体の受診者が増加が見られた。さらに、若者世代の受診者数の増加に繋がったと考える。 また、受診後は、健康づくりの為に何をすべきかを専門職と共に考える機会としての『結果説明会』を開催している。 健康づくりのモチベーション維持の為に受け皿として、個別栄養相談、健康デーを開催。住民にも好評である。健康デーは、毎回テーマ決めをし、多方面から健康情報の発信ができるよう整備。対応するスタッフも、随時個別相談を受けながら、住民とのコミュニケーションを積極的に取ることで、住民の満足度を高めるよう努めた。 ③今後も、最新の情報提供の場となるよう、随時、ポスター等の掲示を継続していく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>継続性について                      A:このまま継続 ○                      B:改善・見直し                      C:廃止・終了</p> <p>意見・提言                      町民全体の健康寿命延伸のため、継続を希望する。また、若年層にも関心を持ってもらえるような取り組みにも期待したい。</p>	<p>子供の頃からの健康づくりは、その後のライフステージを健やかに生きる為に重要な習慣である。各事業を通し、若年層へのアプローチも強化できるよう今後も工夫を凝らしたい。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	健康福祉課					
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	だれもがいいきと生活できる暮らしの充実					
施策	住み慣れた地域で暮らすための支え合いと地域福祉の推進	進捗状況	100%					
関連する優先目標	—	関連するSDGs	3健康・福祉					
KPI	地域ぐるみの生活支援組織づくり	本年度目標値	2	現状値	0	対前年同期比	±0	
KPI		本年度目標値		現状値		対前年同期比		
KPI		本年度目標値		現状値		対前年同期比		
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果					
主な取組内容	4月	①社会福祉協議会や民生委員児童委員、自治会などによる助け合いのあり方の検討	①②地域福祉計画・地域福祉活動計画において検討するため、策定業務委託契約を締結。 ④普及啓発としてパンフレット・ボールペン・ポケットティッシュ等配布。					
	5月	②住民参加型の生活支援事業の制度等の検討 ③ひきこもり家庭の相談窓口の検討	①②5/15社協・委託業者との打合せ実施 ④普及啓発としてパンフレット・ボールペン・ポケットティッシュ等配布。5/31みらい大学で芳星高校2年生40名に対し、保健センター見学时に命の大切さについて講話。					
	6月	④命の大切さの普及啓発	①②6/16民生委員児童委員と町長との懇談会実施。 ④普及啓発としてパンフレット・ボールペン・ポケットティッシュ等配布。					
	7月	①社会福祉協議会や民生委員児童委員、自治会などによる助け合いのあり方の検討	①②地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会を開催(7/18)。 ④普及啓発としてパンフレット・ボールペン・ポケットティッシュ等配布。					
	8月	②住民参加型の生活支援事業の制度等の検討 ③ひきこもり家庭の相談窓口の検討	①②社協と計画体系図等の打合せ実施(8/22)、③についても総合窓口の対象。 ④普及啓発としてパンフレット・ボールペン・ポケットティッシュ等配布。					
	9月	④命の大切さの普及啓発	①②③計画骨子案の作成依頼。 ④普及啓発としてパンフレット・ボールペン・ポケットティッシュ等配布。					
	10月	①社会福祉協議会や民生委員児童委員、自治会などによる助け合いのあり方の検討	①②③計画の施策展開のためのヒアリングシート作成、骨子案の検討。基礎データの更新。					
	11月	②住民参加型の生活支援事業の制度等の検討 ③ひきこもり家庭の相談窓口の検討	①②③活動指標の設定、素案の作成。④思春期教室で、命の大切さについての講話を行った。(11/28田野中2年生 36名)					
	12月	④命の大切さの普及啓発	①②③地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会(第2回)を開催(12/12)。パブリックコメントを実施(12/27～R6.1/21)。					
	1月	①社会福祉協議会や民生委員児童委員、自治会などによる助け合いのあり方の検討	④思春期教室で、命の大切さについての講話を行った。(1/25七井中2年生 50名)					
	2月	②住民参加型の生活支援事業の制度等の検討 ③ひきこもり家庭の相談窓口の検討	④思春期教室で、命の大切さについての講話を行った。(2/8益子中2年生 95名)(2/22益子西小5・6年生 91名)					
	3月	④命の大切さの普及啓発	①②③地域福祉計画・地域福祉活動計画を策定した。					

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第 1 四 半 期</p>	<p>①②地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員を決定し、策定委員会を開催する。 ④新型コロナウイルスワクチン接種会場でボールペンやティッシュ等の配布を行っている。7月以降も継続して啓発を行っていく予定。自殺予防月間及び週間にはより力を入れていく。(9月、3月)</p>
<p style="text-align: center;">第 2 四 半 期</p>	<p>①②③地域福祉計画・地域福祉活動計画の骨子案・素案について、策定委員会で検討する。 ④新型コロナウイルスワクチン接種会場でボールペンやティッシュ等の配布を行っている。10月以降も継続して啓発を行っていく予定。自殺予防月間及び週間にはより力を入れていく。(9月、3月)</p>
<p style="text-align: center;">第 3 四 半 期</p>	<p>①②③地域福祉計画・地域福祉活動計画の素案を作成し、策定委員会で検討。パブリックコメントを実施する。</p>
<p style="text-align: center;">総 括 ( 第 4 四 半 期 含 )</p>	<p>④支援者が知識・情報を更新し、より生徒児童に命の大切さについて伝わりやすい教室運営を行う。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>継続性について                      A:このまま継続 ○                      B:改善・見直し                      C:廃止・終了</p> <p>意見・提言                      地域福祉計画・地域福祉活動計画に沿い、町民一人一人が“ 幸せを感じられる町 ”を目指し、今まで以上に連携しながら進めていくことを希望する。</p>	<p>地域福祉計画・地域福祉活動計画に沿い、各事業で、様子が気になる方や悩んで知る方への声掛けをし、連携をしながら命の大切さ等の普及啓発を継続していく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】		課局名	高齢者支援課					
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	だれもがいきいきと生活できる暮らしの充実					
施策	高齢者の生きがいづくりの推進	進捗状況	100.0%					
関連する優先目標	—	関連するSDGs	3健康・福祉					
KPI	介護予防教室及び高齢者サロン参加者実人数	本年度目標値	378	現状値	339人	対前年同期比	+60	
KPI		本年度目標値		現状値		対前年同期比		
KPI		本年度目標値		現状値		対前年同期比		
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果				
主な取組内容	4月			①補助金交付【サロン:9団体】 新規サロンオープン ④いきいきクラブ連合会総会【クラブ:16団体内15団体参加】、いきいきクラブ・町有バス利用【クラブ:1団体1回】、シルバー人材センターヘッドチップパーの貸与【2回】 ⑤関係各課・関係機関と連携				
	5月	①ふれあいサロン運営支援 ②日常生活の支援体制づくり ④いきいきクラブ、シルバー人材センターの活動支援 ⑤地域包括ケアシステムの推進		①活動内容の相談・調整 ④いきいきクラブ・補助金交付決定【クラブ:16団体】・町有バス利用【クラブ:2団体】、クラブ活動に関する相談対応。シルバー人材センターヘッドチップパーの貸与【1回】。シルバー人材センター理事長との打ち合わせを実施。 ⑤在宅医療・介護連携推進事業に関わる検討会の実施				
	6月			①活動内容の相談・調整 健康講話の実施 ④いきいきクラブ・補助金交付【クラブ:16団体、連合会】、町有バス利用【クラブ:1団体】、真岡線相互利用事業【クラブ:3団体】、クラブ活動に関する相談対応。				
	7月			①活動内容の相談・調整 健康講話の実施 ④いきいきクラブ・町有バス利用【クラブ:1団体】、真岡線相互利用事業【クラブ:1団体】、クラブ活動に関する相談対応。シルバー人材センター事務局へ指導・助言。 ⑤多職種研修会の開催				
	8月	①ふれあいサロン運営支援 ②日常生活の支援体制づくり ④いきいきクラブ、シルバー人材センターの活動支援 ⑤地域包括ケアシステムの推進			①活動内容の相談・調整 ④真岡線相互利用等クラブ活動に関する相談対応。シルバー人材センター事務局と情報交換 ⑤住民公開講座の開催			
	9月			①活動内容の相談・調整 ④いきいきクラブ・町有バス利用【クラブ:1団体】、真岡線相互利用事業【クラブ:3団体】、クラブ活動に関する相談対応。シルバー人材センター事務局長と情報・意見交換。シルバー人材センター理事会に出席。 ⑤住民公開講座の開催				
	10月			①活動内容の相談・調整 ④いきいきクラブ・町有バス利用【クラブ:5団体】、クラブ活動に関する相談対応。 ⑤住民公開講座、多職種研修会の開催				
	11月	①ふれあいサロン運営支援 ②日常生活の支援体制づくり ④いきいきクラブ、シルバー人材センターの活動支援 ⑤地域包括ケアシステムの推進			①活動内容の相談・調整 ④いきいきクラブ活動に関する相談対応、シルバー人材センターヘッドチップパーの貸与【4回】 ⑤住民公開講座の開催。在宅医療・介護連携推進事業に関わる検討会の実施			
	12月			①活動内容の相談・調整 ④いきいきクラブ活動に関する相談対応、シルバー人材センターヘッドチップパーの貸与【2回】、シルバー人材センター理事長との打ち合わせを実施。 ⑤住民公開講座の開催				
	1月			①活動内容の相談・調整 ②情報交換・打ち合わせの日程等の調整 ④自治会長会議時、いきいきクラブの現状及び協力依頼の説明実施。R6年度町有バスの利用希望日調査。新規クラブ設立に関する相談。シルバー人材センターヘッドチップパーの貸与【4回】、シルバー人材センター理事長との打ち合わせを実施。 ⑤多職種研修会の開催				
	2月	①ふれあいサロン運営支援 ②日常生活の支援体制づくり ④いきいきクラブ、シルバー人材センターの活動支援 ⑤地域包括ケアシステムの推進			①活動内容の相談・調整 ②益子町社会福祉協議会と取組や課題についての意見交換・打ち合わせを実施 ④いきいきクラブ・真岡線相互利用事業打合せ会議出席(芳賀広域主催)。シルバー人材センターヘッドチップパーの貸与【3回】、シルバー人材センター事務局長と意見交換・打ち合わせを実施。 ⑤住民公開講座の開催			
	3月			①補助金実績報告・活動内容の相談 ④いきいきクラブで利用する町有バスの抽選会(真岡線相互利用事業含む)を実施。シルバー人材センターヘッドチップパーの貸与【3回】 ⑤芳賀4町会議・運営委員会の開催				

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;"><b>③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</b></p>
<p style="text-align: center;"><b>第1 四半期</b></p>	<p>①6月末サロン・教室参加実人数337名(うちサロン124名、介護予防教室62名、自主教室151名) 介護予防教室や自主教室の実施方法についてリハビリ専門職と相談をおこなった。またお知らせ版にて各種教室の募集をおこなった。</p> <p>④社会福祉協議会でいきいきクラブ連合会総会を開催(単位クラブ16団体中15団体出席)した。また、真岡線相互利用事業や町有バス利用等、今後の活動について各単位クラブからの相談に応じた。また、活動支援の一つとしていきいきクラブの単位クラブや連合会に補助金を交付した。新型コロナウイルス感染症の分類が5月8日に2類相当から5類に移行されたこともあり、いきいきクラブ活動が活発になると思われる。今後も社会福祉協議会等と連携し、いきいきクラブからの相談に応じるほか、支援を継続していきたい。</p> <p>シルバー人材センターへ補助金を交付した。ウッドチップの貸与等により、事業拡大を引き続き支援を行う。</p> <p>⑤芳賀郡市医師会、芳賀郡1市4町で事業の意見交換会及び在宅医療・介護連携推進事業の検討会を実施した。</p>
<p style="text-align: center;"><b>第2 四半期</b></p>	<p>①9月末サロン・教室参加実人数343名(うちサロン126名、介護予防教室62名、自主教室155名) 各サロン・自主教室に対して活動内容の相談や支援をおこなった。人数については、新規に参加される方も増えたが、長年参加された方が高齢に伴い参加できなくなったため、大きな増加はみられていない。今後も新規参加者の募集をおこない、継続して参加していただけるよう個別で参加者の相談にもものっていく。</p> <p>④真岡線相互利用事業や町有バス利用等、今後の活動について各単位クラブからの相談に応じた。今年の夏は猛暑ということもあり、体調を崩すクラブ会員もいたため、真岡線相互利用事業の参加者数が申込時より減少する団体も見受けられた。なお、今後行楽シーズンを迎え、町有バスの利用も増えていくと思われる。今後も社会福祉協議会等と連携し、いきいきクラブからの相談に応じるほか、支援を継続していきたい。</p> <p>シルバー人材センターと情報の共有・確認を行った。引き続き情報の共有・意見交換等を継続していきたい。</p> <p>⑤在宅医療・介護連携推進事業の中で多職種研修会、住民公開講座を実施した。</p>
<p style="text-align: center;"><b>第3 四半期</b></p>	<p>①12月末サロン・教室参加実人数340名(うちサロン126名、介護予防教室61名、自主教室153名) 各サロン・自主教室に対して活動内容の相談や支援をおこなった。また新規サロン開設に関する相談をおこなった。来春に開設できるよう支援していきたい。人数については新規参加者はいるが、高齢のため教室を辞める方もいるため、やや減少している。今後も新規参加者の募集をおこない、継続して参加していただけるよう個別で参加者の相談にもものっていく。</p> <p>②情報共有及び連携による体制整備を推進するため、生活支援コーディネーター、社会福祉協議会などの意見交換・次年度の打ち合わせを第4四半期に実施する。</p> <p>④いきいきクラブ活動については、真岡線相互利用事業や町有バス利用等、今後の活動について各単位クラブからの相談に応じた。なお、第4四半期では、次年度の真岡線相互利用事業や町有バス申込関係について希望日を伺い、調整するなど準備を進めていきたい。シルバー人材センターと意見交換を行った。引き続き意見交換等を継続していく。</p> <p>⑤在宅医療・介護連携推進事業の中で多職種研修会、住民公開講座、在宅医療・介護連携推進事業に関わる検討会を実施した。県、芳賀郡1市4町、芳賀郡市医師会と協力して引き続き事業を推進していきたい。</p>
<p style="text-align: center;"><b>総括 (第4 四半期 含)</b></p>	<p>①3月末サロン・教室参加実人数339名(うちサロン126名、介護予防教室60名、自主教室153名) 各サロン・自主教室に対して活動内容の相談や支援をおこなった。サロンについては、活動内容を考える事に苦労しているとの声がかかっている。ボランティア中心で今後も運営を継続していけるよう、活動内容の参考となるような研修会の実施を検討していく。また、新規に教室を開催し自主教室として継続していけるよう支援し参加者数を増やしていく。</p> <p>②情報共有及び連携による体制整備を推進するため、生活支援コーディネーター、社会福祉協議会などの意見交換・次年度の打ち合わせを第4四半期に実施した。</p> <p>④1月の自治会長会議時の案件で、いきいきクラブの現状及び協力依頼の資料を配布し、自治会の皆さんにいきいきクラブ運営の協力・支援等をお願いした。また、次年度の町有バス利用関係について抽選会(真岡線相互利用事業含む)を実施し、決定後、関係市町・真岡鉄道等へ連絡した。年々、クラブ数・クラブ員数ともに減少傾向にあるが、今後も社会福祉協議会と連携し、随時相談・支援を行っていきたい。シルバー人材センターと打ち合わせ、意見交換を実施した。シルバー人材センターの会員の就業機会等の拡大ができるように今後も情報交換等を実施していきたい。</p> <p>⑤在宅医療・介護連携推進事業の今年度の実績、次年度の計画等について、芳賀4町会議、運営委員会を実施した。次年度についても、県、芳賀郡1市4町、芳賀郡市医師会等と協力して引き続き事業を推進していきたい。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>継続性について                      A:このまま継続 ○                      B:改善・見直し                      C:廃止・終了</p> <p>意見・提言                      人との関わりや体や頭を動かしての活動が健康寿命の延伸や孤立を防ぐことにもつながるので、各地域でいろんな人が参加できるような取組みを期待する。</p>	<p>今後も健康の維持・増進ができるよう、地域での居場所の一つであるサロンや教室、介護予防を視点とした活動を充実させていく。</p> <p>全体的に老人クラブ会員の高齢化が進んでいるが、高齢者の生きがいとなる場、地域社会との交流の場等を維持するため、老人クラブへの補助や支援を継続的に実施していく。</p>

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	健康福祉課						
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	だれもがいきいきと生活できる暮らしの充実						
施策	障がい者の自立と安心して暮らせるまちづくり	進捗状況	100%						
関連する優先目標	—	関連するSDGs	3健康・福祉	10平等					
KPI	芳賀郡障害児者相談支援センター新規相談者数(益子町在住者)	本年度目標値	26	現状値	24人	対前年同期比	+11		
KPI		本年度目標値		現状値		対前年同期比			
KPI		本年度目標値		現状値		対前年同期比			
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果						
主な取組内容	4月		①障害児者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がい者のニーズ把握に努めた。 ④障がい者優先調達方針を定め、年間の調達目標を設定した。						
	5月	①住み慣れた地域での生活継続が出来るよう支援を行う。 ②福祉人材や担い手の育成を行う。 ③芳賀郡障害児者相談支援センターを周知する。 ④障がい者就労支援施設等からの物資や役務の調達を行う。	①障害児者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がい者のニーズ把握に努めた。 ②県などが主催する研修計画を事業所に提供すると共に、理解促進のため各種学習会等に職員を派遣した。						
	6月		①障害児者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がい者のニーズ把握に努めた。 ②県などが主催する研修計画を事業所に提供すると共に、理解促進のため各種学習会等に職員を派遣した。						
	7月		①②③④障がい福祉計画・障がい児福祉計画策定委員会を開催(7/28)。 次年度からの3か年計画の中で福祉サービスや相談支援体制、就労支援等について目標を設定していく。						
	8月	①住み慣れた地域での生活継続が出来るよう支援を行う。 ②福祉人材や担い手の育成を行う。 ③芳賀郡障害児者相談支援センターを周知する。 ④障がい者就労支援施設等からの物資や役務の調達を行う。	①障害児者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がい者のニーズ把握に努めた。 ②芳賀地区自立支援協議会専門部会等の研修に参加した。						
	9月		①②芳賀地区自立支援協議会において県のアドバイザー事業を活用した研修会を計画した。 ④民生委員児童委員協議会において、障がい者就労支援施設から物資を調達した。						
	10月		①障害児者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がい者のニーズ把握に努めた。 ②芳賀地区自立支援協議会の研修に参加した。						
	11月	①住み慣れた地域での生活継続が出来るよう支援を行う。 ②福祉人材や担い手の育成を行う。 ③芳賀郡障害児者相談支援センターを周知する。 ④障がい者就労支援施設等からの物資や役務の調達を行う。	①障害児者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がい者のニーズ把握に努めた。 ④民生委員児童委員協議会において、障がい者就労継続支援施設から物資を調達した。						
	12月		①②③障がい福祉計画・障がい児福祉計画策定委員会(第2回)の開催(12/25)。 ④民生委員児童委員協議会において、障がい者就労継続支援施設から物資を調達した。						
	1月		①障害児者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がい者のニーズ把握に努めた。 ①②③障がい福祉計画、障がい児福祉計画のパブリックコメントを実施した(1/5～1/21)。						
	2月	①住み慣れた地域での生活継続が出来るよう支援を行う。 ②福祉人材や担い手の育成を行う。 ③芳賀郡障害児者相談支援センターを周知する。 ④障がい者就労支援施設等からの物資や役務の調達を行う。	①障害児者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がい者のニーズ把握に努めた。						
	3月		①②③障がい福祉計画・障がい児福祉計画を策定した。 ①②芳賀地区自立支援協議会を開催した。 ④民生委員児童委員協議会において、障がい者就労継続支援施設から物資を調達した。						

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①毎月複数回センター職員と情報共有を図っていることから連携については問題なく行えているものと考えている。しかしながら、障がい福祉サービスに関する地域資源が不足していることから、地域での生活継続支援が困難な状況もある。</p> <p>②芳賀郡市で組織する自立支援協議会において主催する研修等に積極的に参加し情報収集を行う。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①毎月複数回センター職員と情報共有を図っていることから、連携については問題なく行えているものと考えている。しかしながら、障がい福祉サービスに関する地域資源が不足しているため、地域での生活継続支援が困難な状況もある。</p> <p>②芳賀地区自立支援協議会において各専門部会が主催する研修等参加するほか、協議会事務局で県東健康福祉センターの協力のもと「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」に関する研修会を開催する。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①毎月複数回センター職員と情報共有を図っていることから連携については問題なく行えているものと考えている。しかしながら、障がい福祉サービスに関する地域資源が不足していることから、地域での生活継続支援が困難な状況もある。</p> <p>②芳賀郡市で組織する自立支援協議会において主催する研修等に積極的に参加し情報収集を行う。</p> <p>①②③障がい福祉計画・障がい児福祉計画の素案を作成し、策定委員会で検討した。1月にパブリックコメントを実施する。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期含) )</p>	<p>①毎月複数回センター職員と情報共有を図っていることから連携については問題なく行えているものと考えている。しかしながら、障がい福祉サービスに関する地域資源が不足していることから、地域での生活継続支援が困難な状況もある。</p> <p>②芳賀郡市で組織する自立支援協議会において主催する研修等に積極的に参加し情報収集を行う。</p> <p>①②③第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画を策定した。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>継続性について                      A:このまま継続 ○                      B:改善・見直し                      C:廃止・終了</p> <p>意見・提言                      今後も相談支援センターや自立支援協議会との連携、協力体制整備を継続していただきたい。</p>	<p>今後とも障がい者相談支援センターと緊密に連携を取り、障がい者の生活のしづらさを解消していくことを継続したい。</p>

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	健康福祉課				
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	だれもがいいきと生活できる暮らしの充実				
施策	生活に困ったときの支援や自立の推進	進捗状況	100%				
関連する優先目標	—	関連するSDGs	1 貧困	3 健康・福祉			
KPI	福祉に関する総合窓口の設置	本年度目標値	0	現状値	0	対前年同期比	±0
KPI		本年度目標値		現状値		対前年同期比	
KPI		本年度目標値		現状値		対前年同期比	
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果				
主な取組内容	4月		①相談者への後見人制度の案内を行った。 ②生活保護制度の説明や申請受付、自立相談などの支援を行った。				
	5月	①財産を守るための権利保護事務の実施 ②生活困窮者への支援 ③福祉に関する総合窓口の検討	①相談者への後見人制度の案内を行った。 ②生活保護制度の説明や申請受付、自立相談などの支援を行った。価格高騰重点支援給付金支給事業実施要綱作成。				
	6月		①相談者への後見人制度の案内を行った。 ②生活保護制度の説明や申請受付、自立相談などの支援を行った。価格高騰重点支援給付金の支給準備を始めた。				
	7月		①成年後見制度利用支援事業による申出を行った。 ②生活保護制度の説明や申請受付、自立相談などの支援を行った。価格高騰重点支援給付金の申請開始。				
	8月	①財産を守るための権利保護事務の実施 ②生活困窮者への支援 ③福祉に関する総合窓口の検討	①相談者への後見人制度の案内を行った。 ②生活保護制度の説明や申請受付、自立相談などの支援を行った。価格高騰重点支援給付金支給の支払(8/18)。 ③についてはDX推進会議や地域福祉計画体系図でも検討した。				
	9月		①成年後見制度利用支援事業費の補正を行った。 ②生活保護制度の説明や申請受付、自立相談などの支援を行った。価格高騰重点支援給付金の給付の継続。				
	10月		①相談者へ後見人制度の案内を行った。 ②生活保護制度の説明や申請受付、自立相談などの支援を行った。価格高騰重点支援給付金の給付の継続。				
	11月	①財産を守るための権利保護事務の実施 ②生活困窮者への支援 ③福祉に関する総合窓口の検討	①相談者へ後見人制度の案内を行った。 ②生活保護制度の説明や申請受付、自立相談などの支援を行った。価格高騰重点支援給付金の給付を完了した(11/28)。				
	12月		①相談者へ後見人制度の案内を行った。 ②生活保護制度の説明や申請受付、自立相談などの支援を行った。物価高騰重点支援給付金(追加給付)の給付準備を始めた。				
	1月		①相談者へ後見人制度の案内を行った。 ②生活保護制度の説明や申請受付、自立相談などの支援を行った。価格高騰重点支援給付金(追加給付)の給付を開始した(1/29)。				
	2月	①財産を守るための権利保護事務の実施 ②生活困窮者への支援 ③福祉に関する総合窓口の検討	①相談者へ後見人制度の案内を行った。 ②生活保護制度の説明や申請受付、自立相談などの支援を行った。価格高騰重点支援給付金(追加給付)の給付の継続。				
	3月		①相談者へ後見人制度の案内を行った。 ②生活保護制度の説明や申請受付、自立相談などの支援を行った。物価高騰重点支援給付金(追加給付)の給付を完了した(3/18)。 ③地域福祉計画等の指標とした。				

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第 1 四 半 期</p>	<p>①権利保護については、適宜相談を受け協力を行っている。 ②国・県の制度による支援を継続していく。 ③県が主催する研修会等に積極的に参加する。</p>
<p style="text-align: center;">第 2 四 半 期</p>	<p>①権利保護については、適宜相談を受け協力を行っている。 ②国・県の制度による支援を継続していく。給付金は10/31まで。 ③県が主催する研修会等に参加するほか、地域福祉計画等での検討を継続する。</p>
<p style="text-align: center;">第 3 四 半 期</p>	<p>①権利保護については、適宜相談を受け協力を行っている。 ②国・県の制度による支援を継続していく。価格高騰重点支援給付金(追加給付)給付準備を始め、来年1月中に給付を開始する。 ③県が主催する研修会等に参加するほか、地域福祉計画等での活動指標とした。</p>
<p style="text-align: center;">総 括 ( 第 4 四 半 期 含 )</p>	<p>①権利保護については、適宜相談を受け協力を行っている。 ②国・県の制度による支援を継続していく。価格高騰重点支援給付金(追加給付)の給付を完了した。 ③県が主催する研修会等に参加するほか、地域福祉計画等での活動指標とした。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>継続性について                      A:このまま継続 ○                      B:改善・見直し                      C:廃止・終了</p> <p>意見・提言                      社会福祉協議会と連携を強化し進めていけるようお願いしたい。</p>	<p>地域福祉計画・地域福祉活動計画に沿って、社会福祉協議会と連携をしながら総合相談窓口設置に向けた取り組みを継続して行っていく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	環境課				
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	美しい里山・きれいなまちの推進				
施策	脱炭素・脱プラスチック社会の推進	進捗状況	100%				
関連する優先目標	2「住みたいまち」	関連するSDGs	7エネルギー	13気候変動	15陸の豊かさ	—	—
KPI	町内電気自動車等保有台数	本年度目標値	79	現状値	101	台	対前年同期比 +21
KPI		本年度目標値		現状値			対前年同期比
KPI		本年度目標値		現状値			対前年同期比
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果				
主な取組内容	4月	①電気自動車を充電できる施設、及びEV車等の増を盛り込んだ地球温暖化防止に係る計画策定。同時に補助事業利用の検討。 ②化石燃料に代わる、次世代エネルギー利用の推進。 ⑤伐採木を薪材等として再利用できるようなシステムの構築。	②太陽光発電、蓄電池充電器設置、V2H、バイオマスストーブ等の補助について申請受付を開始。 ②脱炭素プラットフォーム会議参加4/26				
	5月		②脱炭素フォーラム参加5/19 ②「持続可能な発展を目指す自治体会議」のweb会議5/24				
	6月		②省エネ家電製品購入費補助金交付申請受付開始6/6 ②栃木県地球温暖化防止活動センター事業説明会の参加6/29				
	7月		①計画骨子案の作成				
	8月		①気候変動対策庁内調整会議開催8/10 ①気候変動対策推進会議開催8/28 ②カーボンニュートラルシンポジウム参加8/30				
	9月		②省エネ家電製品購入費補助金交付申請受付終了9/8 ②脱炭素プラットフォーム会議参加9/22				
	10月		①気候変動対策庁内調整会議 10/26 ②再生可能エネルギー連絡会参加 10/4				
	11月		①気候変動対策推進会議 11/24 ②地域再エネセミナー参加 11/16				
	12月		①環境審議会 12/12 ②脱炭素プラットフォーム会議参加 12/20				
	1月		①環境基本計画推進委員会 1/12 ②地域再エネセミナー参加 1/9				
	2月		①環境審議会 2/8 ①気候変動対策推進会議 2/15 ①②東京ガス打合せ 2/16 ①②エネチェンジ打合せ 2/26 ⑤県東地域連絡協議会参加 2/20				
	3月		①気候変動適応法説明会参加 3/6 ①益子町気候変動対策推進計画策定 ②脱炭素プラットフォーム会議参加 3/18				

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①公共施設への充電設備設置については、民間事業者が国の補助金を活用して、イニシャルコスト、ランニングコストを抑えて自治体への導入を展開している事例もあるので、情報を入手し、検討可能か判断していく。 電気自動車については、購入補助を行っている自治体も増えてきていることから、動向をみながら町補助事業の実施を検討していく。</p> <p>②次世代エネルギー利用推進に関しては、太陽光発電パネル、蓄電池、V2H、ペレットストーブ等の設置補助を継続し、今後も次世代エネルギー利用を推進していく。特に、蓄電池への関心が高まっていることから、個人住宅の自家消費型の太陽光蓄電池の申請が多くなってきており、補助要綱の見直しが必要か検討する。 臨時交付金を活用した省エネ家電製品購入費補助交付事業を開始した。</p> <p>⑤伐採木の薪材等としての再利用については、環境基本策定推進委員会の中でも提起されており、間伐材等利活用の情報を収集し、検討していく。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①電気自動車と充電施設の普及について、会議等にて検証し計画に盛り込む。なお、電気自動車については、インフラ整備を優先させたい。</p> <p>②臨時交付金を活用した省エネ家電製品購入費補助交付事業を、予算上限に達したため終了した。事業効果の検証を行う。</p> <p>⑤伐採木の薪材等としての再利用については、環境基本策定推進委員会の中でも提起されており、間伐材等利活用の情報を収集し、検討していく。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①電気自動車と充電施設の普及について、会議等にて検証し計画に盛り込む。なお、電気自動車については、インフラ整備を優先させたい。</p> <p>②環境省が開催している地域再生エネルギーセミナーに定期的に参加し、引き続き情報収取に努めていく。</p> <p>⑤伐採木の薪材等としての再利用については、環境基本策定推進委員会の中でも提起されており、間伐材等利活用の情報を収集し、検討していく。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①EV車の増について盛り込んだ地球温暖化防止実行計画(区域施策編)を策定。また、令和6年度に公用車の一部を電動車にするため、今後の充電設備設置について、事業者から説明を受けた。次年度以降の導入に向けて、継続して検討・調整する。 また、計画には気候変動に関する計画も盛り込んだので、次年度は温暖化、気候変動どちらも住民へ周知していく。</p> <p>②策定した計画に沿って、温室効果ガス削減に向けた具体策の検討に努める。東京ガスなどの事業者や県の支援事業(申請中、採択されれば)を利用し、再来年度の予算化などに向けて具体策を検討していく。</p> <p>⑤伐採された枝等の資源化について、継続して検討する。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>継続性について                      A:このまま継続 ○                      B:改善・見直し                      C:廃止・終了</p> <p>意見・提言                      環境に対する意識醸成のために情報発信等継続していただきたい。</p>	<p>町の行事に併せて電気自動車の展示、試乗会等を行い町民に電気自動車を身近に感じてもらう。V2Hと電気自動車を組み合わせることの災害時における有効性などの情報提供をしていく。町内への充電器設置を県の支援事業も利用しながら進めていく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	環境課				
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる		政策				
施策	農山村の景観維持と整備の充実		進捗状況	100%			
関連する優先目標	—		関連するSDGs	13気候変動	15陸の豊かさ		
KPI	里山整備実施箇所数(累計)		本年度目標値	41	現状値	41 <small>ヶ所</small>	対前年同期比 ±0
KPI	環境保全実施面積(農地)		本年度目標値	78.5	現状値	81%	対前年同期比 +0.1
KPI			本年度目標値		現状値		対前年同期比
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果				
主な 取組 内容	4月		①②とちぎの元気なもりづくり事業説明会参加4/12 ①②森林・多面的機能発揮対策事業説明会参加4/19 ③前沢町有林維持管理業務委託の業務設計積算				
	5月	①②里山林整備に向けた整備箇所及び地元合意形成状況の把握 ③前沢町有林の整備の検討	①②とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業交付申請 ①②益子花の会下刈作業に参加。5/22 ③前沢町有林維持管理業務委託入札の実施 ④木育事業について打合せ				
	6月	④森林環境譲与税に関する事業の実施	①②あじさい会の下草刈り作業に参加6/4 ①②益子里山の会の下草刈り作業に参加6/18 ①②益子花の会の下草刈り作業に参加6/25 ③前沢町有林維持管理業務委託契約(芳賀森林組合) ③前沢町有林のサクラについて有識者と現地確認6/7 ④木育事業について打合せ、制度設計				
	7月	①②里山林整備に向けた整備箇所及び地元合意形成状況の把握	①②本沼自治会打合せ7/12 ①②益子里山の会総会7/20 ③森林経営計画打合せ7/18 ④木育事業について打合せ7/10、7/21、7/27 ④アカマツ復活プロジェクト現地確認、打合せ7/6				
	8月	③前沢町有林の整備の検討 ④森林環境譲与税に関する事業の実施	③森林経営計画打合せ8/17 ④森林経営管理制度研修参加8/24				
	9月		①本沼自治会打合せ9/28 ④木育事業製品贈呈開始				
	10月	①②里山林整備に向けた整備箇所及び地元合意形成状況の把握	④森林経営管理制度研修会10/6 ④集積計画打合せ10/27 ④木育事業製品贈呈				
	11月	③前沢町有林の整備の検討 ④森林環境譲与税に関する事業の実施	③県と現地打ち合わせ11/7 ④集積計画打合せ ④木育事業製品贈呈				
	12月		③県との打合せ ④集積計画打合せ ④木育事業製品贈呈 ④アカマツ枝打ち実施 12/18				
	1月	①②里山林整備に向けた整備箇所及び地元合意形成状況の把握	①②元気な森づくり事業各団体より実績報告書提出 ①②山村多面的事業検査実施 1/25 ④森林経営管理制度研修会参加 1/26 ④木育事業製品贈呈				
	2月	③前沢町有林の整備の検討 ④森林環境譲与税に関する事業の実施	①②元気な森づくり事業各団体より実績報告書提出 ④アカマツ植樹実施 2/5 ④県東地域連絡協議会参加 2/20 ④木育事業製品贈呈				
	3月		①②元気な森づくり事業各団体より実績報告書提出 ④集積計画打合せ ④木育事業製品贈呈【出生者77名、受領済71件、未受領5件、不受理1件】				

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;"><b>③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</b></p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①②森林・多面的機能発揮対策事業について、益子花の会の円道寺池周辺整備、小泉里山の会についても、里山保全に向けた活動を行っており引き続き活動を支援できるよう努める。また今後、多面的機能発揮対策事業に関心を持っている団体もあり、活用に繋がるよう支援していく。</p> <p>①②とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業については、里山林整備の4.1ha、管理分69.4haを予定している。</p> <p>③前沢町有林に関しては、サクラの育成管理について環境基本計画推進協議会でも意見が出ていることから、有識者に現地を確認、アドバイス等をいただいた。植栽の密度や追肥など、今後の育成、間伐等の管理が検討していく必要がある。</p> <p>④森林環境譲与税に関する事業について県と打ち合わせを行った。森林環境譲与税の活用について、今後県と連携しながら事業を実施していく。 新規事業として、乳幼児に向けた木製品贈呈事業を実施する。木育の趣旨を理解してもらうことと、益子の手作り品のPRを兼ねたチラシ作成も実施していく。 アカマツ復活プロジェクトについては、小学生の間伐作業や枝打ち体験及びアカマツ植栽事業を予定しており、森林環境譲与税を活用した事業を実施する。また、今後町内に残されたアカマツ林の保全保存のための管理を検討していく。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①②森林・多面的機能発揮対策事業に関心を持っている団体があったが、地権者との兼ね合いで次年度は要望しないこととなった。既存団体は実施面積を増やす可能性があるとのことなので、支援していく。</p> <p>③前沢町有林に関して県と打ち合わせを行い、今後の間伐等の管理計画について検討する。</p> <p>④木育事業について、4月から9月に出生届を出した家族に順次贈呈する。 アカマツ復活プロジェクトについては、小学生の間伐作業や枝打ち体験及びアカマツ植栽事業について打合せを行った。実施に向けた現地の整備等を関係団体と進めていく。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①②既存団体の次年度要望に対して支援していく。</p> <p>③前沢町有林に関して県と打ち合わせを行い、今後の間伐等の積算等を実施する。</p> <p>④木育事業について、順次贈呈する。 アカマツ復活プロジェクトについては、12/18に益子小学生の枝打ち体験を行った。今後は植樹体験実施に向けた現地の整備等を関係団体と進めていく。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①②森林山村多面的事業、元気な森づくり事業ともに、今年度と同じ団体が実施することで要望しているため、引き続き支援していく。元気な森づくり事業について、要望後に事業概要の問い合わせが数件あったので、追加要望に備えて、事前に調整しておく。</p> <p>③次年度に桜の整備を行う予定。県と相談しながら準備を進める。</p> <p>④集積計画については、計画した箇所の伐採に向け、設計等の準備を進める。</p> <p>④木育事業については、引き続き対象者に贈呈できるよう、制作者と連絡を取り、在庫管理に努める。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>継続性について                      A:このまま継続 ○                      B:改善・見直し                      C:廃止・終了</p> <p>意見・提言                      令和6年度は桜の整備も実施予定とのことで、四季折々に自然を楽しめる場所が増えるのは楽しみである。</p>	<p>森林整備は森林経営計画に基づき適切に実施していく。R6年度は造林補助金を活用し、前沢町有林内のヤマザクラの間伐を実施予定である。                      里山林整備については、森林整備を行う地域の団体と綿密に連携を取りつつ活動を支援していく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	農政課						
基礎目標		1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	美しい里山・きれいなまちの推進					
施策		農山村の景観維持と整備の充実	進捗状況	100%					
関連する優先目標		—	関連するSDGs	—					
KPI	里山整備実施箇所数(累計)	本年度目標値	41	現状値	41	ヶ所	対前年同期比	±0	
KPI	環境保全実施面積(農地)	本年度目標値	78.5	現状値	81	%	対前年同期比	+0.1	
KPI		本年度目標値		現状値			対前年同期比		
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果						
主な取組内容	4月		①4/4~14 確認検査(24組織) ①R4事業実施状況報告						
	5月	①多面的機能支払交付金取組組織への指導助言、新規地区の加入推進 ②草刈り等環境保全活動の推進	①5/9 広域組織・協議会監査 ①5/13 事業概要説明会(大沢里) ①5/17 広域組織・協議会総会 ①5/19 交付申請						
	6月		①各保全会の活動サポート ②6/21 高機能草刈り機アンケート集計・結果送付 ①6/29 市町担当者会議						
	7月		①各保全会の活動サポート						
	8月	①多面的機能支払交付金取組組織への指導助言 ②草刈り等環境保全活動の推進 ②農道・水路の長寿命化工事の推進	①8/7~18 入札箇所現地確認 ①8/17 多面的機能支払交付金座談会						
	9月		①9/20 変更交付申請 ①9/24 県生き物調査 ②9/25 長寿命化工事入札						
	10月	①多面的機能支払交付金取組組織への指導助言、新規地区の加入推進	①10/2~16 中間確認検査(25組織) ①10/24 広域協定運営委員会						
	11月	①多面的機能支払交付金事業の周知・広報 ②草刈り等環境保全活動の推進 ②農道・水路の長寿命化工事の推進	②11/1 高機能草刈機購入資金制度開始 ①11/5 小宅東地区面的機能支払交付金事業説明会 ②11/24 長寿命化工事入札						
	12月		①12/2~17 環境保全活動PR・生き物マップ等の展示(町民会館) 12/19~ 環境保全活動PR・生き物マップ等の展示(役場)						
	1月		①活動エリアの見直し ①長寿命化工事書類等の指導助言 ②長寿命化工事の中間確認						
	2月	①多面的機能支払交付金取組組織への指導助言 ②農道・水路の長寿命化工事の推進	①長寿命化工事書類等の指導助言 ②長寿命化工事契約関係事務 ①2/21 多面的機能支払交付金事業表彰式及び研修会						
	3月		①長寿命化工事書類等の指導助言 ②長寿命化工事の完了確認 ①3/15 県との確認検査(交付金本体、推進交付金)						

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①令和4年度各地区環境保全会の実績報告、決算等を審査した。また、令和5年度各地区環境保全会の事業計画、予算等を確認し、国、県補助金の要望を行った。</p> <p>②各地区環境保全会のサポートを行うとともに、今年度から活動を開始した芦沼、北益子、大沢里地区については、効果的な活動実施のため手厚くサポートしていく必要がある。</p> <p>③小宅東地区自治会員から保全会設立に関しての相談等があるため、来年度活動開始に向けサポートしていく。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①今年度は昨年度の入札状況を鑑み、農道補修関係の入札を前倒し、業者の効率化を図るため、各地区で1本にまとめ入札を実施した。その結果すべて落札となった。ただし、積算事務や入札方法については事務局の負担が多く、効率化を検討する必要がある。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①各地区環境保全会の状況報告、今後の活動に関する報告を審査した。また、令和5年度の各地区環境保全会の長寿命化工事計画を確認し、配分金の参考とした。</p> <p>②小宅東地区自治会員から保全会設立に関しての相談等があるため、来年度活動開始に向けサポートしていく。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①令和6年度の活動計画期切り替えに向けて各組織の活動エリアの見直し、地図・地番の整理を行った。</p> <p>②年度末に向け、今年度分の長寿命化工事の現地確認及び完了検査を実施した。また提出書類に関しても各保全会や施工業者に指導助言を行った。</p> <p>③2/21の表彰式及び研修会ではうつくしい北益子を創る会が写真コンテストで最優秀賞を受賞、他7団体も入賞、表彰された。その後、各保全会代表とともに研修会を受講。</p> <p>④3/15の県との確認検査では交付金本体、推進交付金ともに指摘事項は無かった。</p> <p>次年度に関しては、よりきめ細やかな指導助言ができるよう各組織ごとのデータ管理・整理を徹底して進めていきたい。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>継続性について                      A:このまま継続 ○                      B:改善・見直し                      C:廃止・終了</p> <p>意見・提言                      環境保全会の新規実施、拡大に期待する。</p>	<p>環境保全会の新規実施、拡大に向けて、広報・啓発活動を実施していく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	生涯学習課					
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	美しい里山・きれいなまちの推進					
施策	農山村の景観維持と整備の充実	進捗状況	100%					
関連する優先目標	—	関連するSDGs	15陸の豊かさ					
KPI	里山整備実施箇所数(累計)	本年度目標値	41	現状値	41	ヶ所	対前年同期比	±0
KPI	環境保全実施面積(農地)	本年度目標値	78.5	現状値	81	%	対前年同期比	+0.1
KPI		本年度目標値		現状値			対前年同期比	
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果					
主な取組内容	4月	⑤花のまちづくり事業 小宅古墳群 桜・菜の花 4月 マリーゴールド育苗作業 10,000株 4月中旬～ ひまわり畑の準備 4月下旬～	⑤花のまちづくり事業 菜の花・桜まつり(小宅古墳群) 来場者約30,000名 フラワーボランティア研修(足利フラワーパーク) 4/25 マリーゴールド仮植作業10,000株 4/27					
	5月	実行委員会の開催 5月 ひまわり農地転用許可申請 5月 第1回ひまわりサミット会議 5月 マリーゴールド苗配布・植栽 6月	⑤花のまちづくり事業 マリーゴールド苗配布・植栽 ひまわり農地転用許可申請 ひまわりサミット担当者会議 5/12 花のまちづくり実行委員会 5/19					
	6月	大規模ひまわり畑 播種作業 6月 ひまわり道路占用許可申請 6月(真岡土木事務所)	⑤花のまちづくり事業 ひまわり播種作業(約5ha) 6/8～ ひまわり道路占用許可申請(真岡土木事務所)					
	7月	⑤花のまちづくり事業 コスモス農地転用許可申請 7月 コスモス畑の準備 7月下旬～	⑤花のまちづくり事業 野木町ひまわりフェスティバル 7/29(土) コスモス播種作業(5ha) 7月末～					
	8月	野木町ひまわりフェスティバル 7月29日 ひまわり祭りの開催(8/11～8/20) かみのかわサンフラワー祭り 8月26日 コスモス道路占用許可申請 9月(真岡土木事務所) コスモス祭りの開催(9/30～10/15)	⑤花のまちづくり事業 ひまわり祭りの開催 8/11～8/20 来場者数42,000人 コスモス道路占用許可申請(真岡土木事務所)8/24 かみのかわサンフラワー祭り 8/26					
	9月		⑤花のまちづくり事業 ビオラ播種作業10,000株 9/28 コスモス祭りの開催 9/30～10/15					
	10月		⑤花のまちづくり事業 コスモス祭りの開催 9/30～10/15 来場者数30,000人					
	11月	⑤花のまちづくり事業 コスモス祭りの開催(9/30～10/15) 花フェスタミニチュアガーデン設置(12/13～1/10) 花フェスタ開催 12月16日	⑤花のまちづくり事業 ひまわりサミット担当者会議 11/28					
	12月		⑤花のまちづくり事業 花フェスタミニチュアガーデン設置 12/13～1/10 花フェスタ開催 12/16 来場者数400人 スタンプラリー、花苗及び種の配布、花のまちづくり事業PR					
	1月		⑤花のまちづくり事業 菜の花・桜道路占用許可申請(真岡土木事務所)					
	2月	⑤花のまちづくり事業 菜の花・桜道路占用許可申請 1月(真岡土木事務所) 大規模花畑イベント代表者会議 2月7日 菜の花・桜まつり開催(セレモニー) 3月31日	⑤花のまちづくり事業 大規模花畑イベント代表者会議 2/7					
	3月		⑤花のまちづくり事業 菜の花・桜まつり出店者会議 3/8 ひまわりサミット事務局引継ぎ 3/13 菜の花・桜まつりセレモニー 3/31					

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>⑤本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていた花畑イベントを4年ぶりに行う。4月に開催した小宅古墳群の菜の花・桜まつりは、オヤケコフズフェスを同時開催するなどの効果もあり、約30,000人の来場者が訪れた。8月のひまわり、10月のコスモスも引き続き感染対策を徹底するとともに、たくさんの方に訪れていただくようPR活動を行う。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>⑤新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていた花畑(ひまわり、コスモス)イベントを4年ぶりに行った。8月のひまわり祭りは、約42,000人の来場者が訪れ、わずかながら昨年の来場者数を上回ることができた。また、野木町、上三川町との連携事業である「ひまわりサミット」を開催し、インスタフォトコンテストやスタンプラリーなどのイベント実施により、三町の交流がより深めることができた。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>⑤生田目地区のコスモス祭りは、来場者が見込める週末に天候が悪い時があったものの、約3万人が訪れ、期間中は多くの人で賑わった。来年のコスモス畑は、カメラマンが好む真岡鐵道付近の圃場を検討しており、更なる誘客促進を目指す。12月16日の「ましこ花フェスタ2023」は、ミニチュアガーデンの設置やスタンプラリーによる花苗及び種の配布、花のまちづくり事業のPRを行った。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>⑤大規模花畑イベントの代表者等を集め、今年度の反省を行った。花の摘み取りや協力金のお願いなど、いくつか地元主導で実施することができ、徐々にではあるが地域への移行を進めることができた。また、小宅古墳群の菜の花・桜まつりについては、1月からイベント内容の検討や準備を行うとともに、3月31日にはセレモニーとオヤケコフズフェス(売店やワークショップ等)を実施した。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>継続性について                      A:このまま継続 ○                      B:改善・見直し                      C:廃止・終了</p> <p>意見・提言                      花のまちづくりを益子の魅力の一つとして盛り上げて                      いってほしい。</p>	<p>花のまちづくりに向けて地域団体との関係を密にし、魅力あるイベントの開催に努める。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】		課局名	環境課				
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	美しい里山・きれいなまちの推進				
施策	ごみの資源化・減量化の推進	進捗状況	100%				
関連する優先目標	—	関連するSDGs	12つくる・つかう責任				
KPI	1人1日当たりの家庭系ごみの排出量	本年度目標値	370	現状値	434g	対前年同期比	△10
KPI	リサイクル率	本年度目標値	31	現状値	27.4%	対前年同期比	+0.5
KPI		本年度目標値		現状値		対前年同期比	
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果				
主な取組内容	4月	①資源物回収団体への奨励金交付、及び資源物ステーション設置補助金の交付。	①前年度第4四半期資源物回収奨励金の交付 回収量:161t、交付件数:63件、交付金額:1,181,980円 ①生ごみ処理事業回収量:家庭系、15t(全25t)、小型家電回収量:1.5t、廃油回収量:0.2t、エコ土曜日(資源物回収):2.3t、硬質プラスチック回収:0.9t ②環境美化運動の実施:2自治会、1団体				
	5月	①生ごみ処理事業、及び使用済小型家電、食用廃油回収等を実施しリサイクルの促進を図る。 ②地域の環境美化運動の支援、及び不法投棄防止への取組み。	①生ごみ処理事業回収量:家庭系、17t(全29t)、廃油回収量:0.2t ②環境美化運動の実施:44自治会 ③益子環境Weeksの実施(5/13、14、19、21、28) ④不法投棄看板の設置:2箇所(道祖土、塙)				
	6月	③フードバンクを活用した食品ロス削減に向けての検討。	①生ごみ処理事業回収量:家庭系、18t(全29t)、小型家電回収量:1.7t、廃油回収量:0.2t、エコ土曜日(資源物回収):4.0t、製品プラスチック回収量:1.3t①資源物ステーション設置補助金交付:東田井 ②益子環境Weeksの実施(6/4、16、24) ③社会福祉協議会と打合せを実施(6/9)				
	7月	①資源物回収団体への奨励金交付、及び資源物ステーション設置補助金の交付。 ①生ごみ処理事業、及び使用済小型家電、食用廃油回収等を実施しリサイクルの促進を図る。	①第1四半期資源物回収奨励金の交付 回収量:174t、交付件数:61件、交付金額:1,283,200円 ①生ごみ処理事業回収量:家庭系、18t(全28t)、廃油回収量:0.2t ③社会福祉協議会と打合せを実施(7/4)				
	8月	②地域の環境美化運動の支援、及び不法投棄防止への取組み。	①生ごみ処理事業回収量:家庭系、21t(全32t)、小型家電回収量:1.7t、廃油回収量:0.4tエコ土曜日(資源物回収):3.3t、製品プラスチック回収量:1t①資源物ステーション設置補助金交付:塙下1				
	9月	③フードバンクを活用した食品ロス削減に向けての検討。	①生ごみ処理事業回収量:家庭系、17t(全28t)、草葉1t、廃油回収量:0.2t食器類のリユース回収量0.3t①資源物ステーション設置補助金交付:本沼				
	10月	①資源物回収団体への奨励金交付、及び資源物ステーション設置補助金の交付。 ①生ごみ処理事業、及び使用済小型家電、食用廃油回収等を実施しリサイクルの促進を図る。	①第2四半期資源物回収奨励金の交付 回収量:148t、交付件数:62件、交付金額:1,086,000円 ①生ごみ処理事業回収量:家庭系、17t(全28t)、草葉0.9t、小型家電回収量:2.1t、廃油回収量:0.2t、エコ土曜日(資源物回収):3.2t、製品プラスチック回収量:1.1t、使用済みインクカートリッジ回収量:kg ②環境美化運動の実施:2団体②不法投棄防止看板の設置:1箇所(長堤) ③社会福祉協議会と打合せ(10/16)				
	11月	②地域の環境美化運動の支援、及び不法投棄防止への取組み。 ③フードバンクを活用した食品ロス削減に向けての検討。	①生ごみ処理事業回収量:家庭系、17t(全28t)、草葉1t、廃油回収量:0.2t、食器類のリユース回収量0.4t ①EM菌講習会の開催 ②不法投棄防止看板の設置:1箇所(本郷) ②環境美化運動の実施:44団体 ③11月に環境課・社協窓口にてフードドライブを実施 収集量:156kg				
	12月		①生ごみ処理事業回収量:家庭系、17t(全27t)、草葉0.6t、廃油回収量:0.2t、エコ土曜日(資源物回収):4t、小型家電回収量:2.3t、製品プラスチック回収量:1.5t、①資源物ステーション設置補助金交付:里東①使用済みインクカートリッジ回収量:5kg ③フードバンク(配布会)を実施:50名に配布				
	1月	①資源物回収団体への奨励金交付、及び資源物ステーション設置補助金の交付。 ①生ごみ処理事業、及び使用済小型家電、食用廃油回収等を実施しリサイクルの促進を図る。	①第3四半期資源物回収奨励金の交付 回収量:201t、交付件数:62件、交付金額:1,458,150円 ①生ごみ処理事業回収量:家庭系、18t(全28t)、草葉0.3t、廃油回収量:0.2t、食器類のリユース回収量0.3t ①自治会長会議で資源物回収事業について説明				
	2月	②地域の環境美化運動の支援、及び不法投棄防止への取組み。	①生ごみ処理事業回収量:家庭系、14t(全25t)、草葉0.2t、廃油回収量:0.22t、エコ土曜日(資源物回収):3.3t、小型家電回収量:1.9t、製品プラスチック回収量:0.7t				
	3月	③フードバンクを活用した食品ロス削減に向けての検討。	①生ごみ処理事業回収量:家庭系、17t(全28t)、草葉0.2t、廃油回収量:0.22t、食器類のリユース回収量0.7t				

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①資源物回収については、令和4年度は前年度より1t増加に転じることができた。引き続き自治会や育成会に回収品目の追加を依頼し、資源物回収の利点についてもPRし、継続的に実施していただけるように努めていく。</p> <p>①昨年6月のエコ土曜日から製品プラスチック回収の実証事業を始めたところ、7.8tのプラスチックを回収することができた。回収リサイクル率の向上につながるよう広報等で周知を図っていききたい。</p> <p>②環境美化運動はコロナ禍の影響が軽減され、昨年度より多くの自治会等の協力で実施することができた。今後は個別で実施してくれるところもあるため引き続き袋等の支援をしていく。</p> <p>②環境WeeksについてはHP等で引き続きボランティア活動のPRを図り、新規のボランティアと団体との橋渡しの役割を担っていききたい。</p> <p>③社会福祉協議会と今年度も実施する方向で打合せをすることができた。詳細については、打合せを重ねながら検討していききたい。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①9月より草葉を回収し、生ごみに混ぜて堆肥化を実施(R5.9～R6.3まで試験的に実施。)</p> <p>①生ごみ回収の有無についてステーションごとに調査実施(R5.10まで。)</p> <p>①10月に町民向けに生ごみ堆肥化施設の見学会を実施し資源循環についてのPRを図る。</p> <p>②11月に実施予定の環境美化運動の実施方法について検討する(実施に協力してくれる自治会にお願いする形。)</p> <p>③社会福祉協議会と町民まつりについて打合せを実施。今年度は町民まつり時の食品受取は実施しない(受取場所と駐車場との距離があり、町民の方に負担になるため。昨年度実績もあまり見込めなかった。)</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①生ごみ堆肥化施設の見学会を実施、また町民まつりで生ごみ処理事業のPRをし普及啓発をすることができた。町民に継続して取り組んでもらえるよう次年度についても実施を検討する。</p> <p>②今年度2回目の環境美化運動も無事に実施することができた。次年度については、自治会の回覧を考慮して周知を2カ月前に行う。</p> <p>③フードバンクは収集量が昨年度より減少したが、昨年度は配布しきれず余ってしまったので、今年度は適量を収集配布することができた。毎年社会福祉協議会と連携して同じ時期に実施し、寄付してくれる町民とフードバンク利用者の両方とに定着を図っていききたい。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①枯葉・草葉の試験回収については、引き続き令和6年度も実施し令和7年度の正式運用について検討していく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>継続性について                      A:このまま継続 ○                      B:改善・見直し                      C:廃止・終了</p> <p>意見・提言                      新たなごみの資源化に期待する。</p>	<p>生ごみ処理については、テレビ放送もあったことにより、多くのお問い合わせをいただいているので、町内でもさらに関心を得られるような方法の検討、啓発を行う。また、新たに町内の事業者にも参加を求めていく。新たなごみの資源化は、今後も他自治体の事例等を収集・研究し、可能なものを取り入れていきたいと考えている。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	総務課							
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	安心して暮らせる地域づくりの推進							
施策	日常を守る災害対策の推進	進捗状況	100%							
関連する優先目標	—	関連するSDGs	—							
KPI	風水害で避難が必要となる自治会(地区)の防災計画策定	本年度目標値	2	現状値	3	自治会	対前年同期比	+1		
KPI		本年度目標値		現状値			対前年同期比			
KPI		本年度目標値		現状値			対前年同期比			
		①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果					
主な取組内容	4月				新規策定自治会の支援について検討を行っている。					
	5月	①地区防災計画策定支援				新規策定自治会の支援について検討を行っている。				
	6月				新規策定自治会の支援について検討を行っている。					
	7月				新規策定自治会の支援について検討を行っている。					
	8月	①地区防災計画策定支援				地区防災計画策定について1自治会に相談をかけた。				
	9月				新規策定自治会の支援について検討を行っている。					
	10月				新規策定自治会の支援について検討を行っている。					
	11月	①地区防災計画策定支援				新規策定自治会の支援について検討を行っている。				
	12月				地区防災計画策定会議を行った。(舟橋地区)					
	1月				地区防災計画資料作成					
	2月	①地区防災計画策定支援				地区防災計画資料作成				
	3月				地区防災計画資料作成 舟橋地区各戸へ配布					

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>今年度目標値は達成している。 新たな自治会を増やせるよう支援を実施していきたい。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>今年度目標値は達成している。 新たな自治会に対し、地区防災計画策定について働きかけを行っている。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>地区防災計画(舟橋地区)策定会議を行い、今後自治会内部で詳細を詰め、年度内には各戸に配布予定。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>地区防災計画(舟橋)資料が地元でも了承を得たため、舟橋自治会から各戸に配布済。 今後修正があれば、舟橋自治会と調整し実施していく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>継続性について                      A:このまま継続 ○                      B:改善・見直し                      C:廃止・終了</p> <p>意見・提言                      今後も地区防災計画策定地区の拡大に期待する。</p>	<p>地域住民の方の防災意識の向上を図るために、計画的な地区防災計画策定支援に努めていく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	総務課				
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	安心して暮らせる地域づくりの推進				
施策	防犯・交通安全の意識の高揚	進捗状況	100%				
関連する優先目標	—	関連するSDGs	—				
KPI	刑法犯発生件数	本年度目標値	61	現状値	145件	対前年同期比	+90
KPI	交通事故発生件数(人身)	本年度目標値	19	現状値	26件	対前年同期比	+5
KPI	特殊詐欺発生件数	本年度目標値	0	現状値	1件	対前年同期比	±0
		①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果		
主な 取組 内容	4月				①交通安全教室 小・中学生 7回1425人、幼児 3回137人 ②青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 2件 ③免許返納 5人		
	5月	①交通安全教室の実施 ②防犯灯設置 青色防犯パトロールの実施 特殊詐欺等注意喚起 特殊詐欺対策電話機購入補助 ③免許返納事業の実施			①交通安全教室 小学生 1回30人、園児 5回30人 ②防犯灯設置 5基(蛍光灯→LED:2、新規2、撤去1) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 4件 ③免許返納 2人		
	6月				①交通安全教室 小学生 5回451人、園児 4回193人、その他 1回50人 ②防犯灯設置 4基(蛍光灯→LED:2、新規2) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 4件		
	7月				①交通安全教室 高齢者 1回20人、園児 5回205人 ②防犯灯設置 11基(蛍光灯→LED:6、新規5) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 5件 ③免許返納 2人		
	8月	①交通安全教室の実施 ②防犯灯設置 青色防犯パトロールの実施 特殊詐欺等注意喚起 特殊詐欺対策電話機購入補助 ③免許返納事業の実施			①交通安全教室 園児 3回127人 ②防犯灯設置 3基(蛍光灯→LED:1、新規2) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 2件 ③免許返納 2人		
	9月				①交通安全教室 高齢者 2回85人、中学生 1回112人、幼児 3回 105人、その他 1回10人 ②防犯灯設置 1基(蛍光灯→LED:1) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 4件 ③免許返納 1人		
	10月				①交通安全教室 高齢者 1回30人、小学生 1回288人、園児 6回223人 ②防犯灯設置 11基(蛍光灯→LED:3、新規8) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 2件 ③免許返納 3人		
	11月	①交通安全教室の実施 ②防犯灯設置 青色防犯パトロールの実施 特殊詐欺等注意喚起 特殊詐欺対策電話機購入補助 ③免許返納事業の実施			①交通安全教室 高齢者 2回50人、小学生 1回200人、園児 5回263人 ②防犯灯設置 4基(水銀灯→LED:1、LED→LED:2) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 5件 ③免許返納 2人		
	12月				①交通安全教室 幼児 5回 445人、その他 1回15人 ②防犯灯設置 2基(蛍光灯→LED:1、LED→LED:1) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 5件 ③免許返納 2人		
	1月				①交通安全教室 幼児 6回 365人、その他 1回120人 ②防犯灯設置 1基(新規1) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 5件 ③免許返納 2人		
	2月	①交通安全教室の実施 ②防犯灯設置 青色防犯パトロールの実施 特殊詐欺等注意喚起 特殊詐欺対策電話機購入補助 ③免許返納事業の実施			①交通安全教室 幼児 5回 445人、その他 1回15人 ②防犯灯設置 6基(蛍光灯→LED:5、新規1) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 3件 ③免許返納 4人		
	3月				①交通安全教室 幼児 5回 120人、その他 1回200人 ②防犯灯設置 5基(蛍光灯→LED:5) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 2件 ③免許返納 2人		

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①交通安全教室等については、継続して行うことで交通事故防止へつながると考える。 交通事故発生件数は、11件(5月末)対前年比 増4件となっている。</p> <p>②防犯灯の設置や青色防犯パトロールを継続して行うことで、犯罪抑制に効果があると考ええる。 刑法犯の発生件数は65件(5月末)対前年比 増51件となっている。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①交通安全教室等については、継続して行うことで交通事故防止へつながると考える。 交通事故発生件数は、16件(8月末)対前年比 増4件となっている。</p> <p>②青色防犯パトロールについては、継続して行うことで犯罪抑制に効果があると考ええる。 刑法犯の発生件数は96件(8月末)対前年比 増65件となっている。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①交通安全教室等については、継続して行うことで交通事故防止へつながると考える。 交通事故発生件数は、25件(11月末)対前年比 増9件となっている。</p> <p>②青色防犯パトロールについては、継続して行うことで犯罪抑制に効果があると考ええる。 刑法犯の発生件数は139件(11月末)対前年比 増87件となっている。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①交通安全教室等については、継続して行うことで交通事故防止へつながると考える。 交通事故発生件数は、26件(12月末)対前年比 増5件となっている。</p> <p>②青色防犯パトロールについては、継続して行うことで犯罪抑制に効果があると考ええる。 刑法犯の発生件数は145件(12月末)対前年比 増90件となっている。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>継続性について                      A:このまま継続 ○                      B:改善・見直し                      C:廃止・終了</p> <p>意見・提言                      刑法犯件数に関して、幅広い世代へ情報発信をして町民の防犯意識が高まるようお願いしたい。</p>	<p>防犯パトロール、交通安全教室により、関係機関と連携を取りながら、高齢者及び子供たちに啓発を継続していく。</p> <p>また交通事故防止、防犯に努めていく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R5(2023)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	学校教育課						
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	安心して暮らせる地域づくりの推進						
施策	防犯・交通安全の意識の高揚	進捗状況	100%						
関連する優先目標	—	関連するSDGs	3健康・福祉						
KPI	刑法犯発生件数	本年度目標値	61	現状値	145	件	対前年同期比	+90	
KPI	交通事故発生件数(人身)	本年度目標値	19	現状値	26	件	対前年同期比	+5	
KPI	特殊詐欺発生件数	本年度目標値	0	現状値	1	件	対前年同期比	±0	
		①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果				
主な取組内容	4月	①スクールガード・リーダー委嘱状交付 ①毎月、スクールガード・リーダーより活動報告書の提出・確認			①スクールガード・リーダー委嘱状交付、スクールガード報告依頼(4/3)				
	5月	①各小中学校へスクールガード名簿提出依頼、ボランティア保険加入処理 ①スクールガード・リーダー連絡協議会・育成講習会の出席者確認報告 後日資料をスクールガードへ情報提供配布。 ①令和5年度地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金交付申請			①4月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(5/10) ①スクールガードの活動保険加入処理(5/30) ①地域ぐるみ学校安全体制整備推進事業費補助金交付申請(5/26)				
	6月				①5月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(6/12)				
	7月	①スクールガード装備品(信号灯等)不足分購入・配布 ①毎月、スクールガード・リーダーより活動報告書の提出・確認			①6月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(7/10)				
	8月	①次年度の地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業実施調査 ①益子町通学路安全対策推進協議会開催にあたり、各小中学校、スクールガード・PTA等に通学路の点検を行ってもらい、新たな危険箇所の申請依頼			①7月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(8/11)				
	9月				①8月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(9/5) ①益子町通学路安全対策推進協議会日程調整通知送付(9/4) ①令和6年度地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業実施予定報告(9/7)				
	10月	①毎月、スクールガード・リーダーより活動報告書の提出・確認 ①「広報ましこ(おしらせ版)」にて、スクールガード募集案内周知			①9月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(10/4)				
	11月	①益子町通学路安全対策推進協議会開催予定 各小・中学校、スクールガード・リーダー、真岡土木事務所、真岡警察と共に通学路の危険箇所の合同点検実施。また前年度の対策実施後の効果把握。 対策一覧表・対策箇所図を作成・公表、関係機関で認識共有。			①10月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(11/9) ①益子町通学路安全対策推進協議会開催(11/9)				
	12月				①11月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(12/8)				
	1月	①毎月、スクールガード・リーダーより活動報告書の提出・確認			①12月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(1/5)				
	2月	①新小学1年生へ防犯ブザー購入、1日入学時に配布 ①小学校1日入学時、保護者へスクールガード募集案内通知配布 ①「広報ましこ(おしらせ版)」にて、スクールガード募集案内周知			①1月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(2/14)				
	3月	①スクールガード・リーダーへ謝金の支払い処理 ①次年度のスクールガード・リーダー継続確認 ①令和5年度地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金実績報告提出			①2月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(3/5) ①スクールガード・リーダー謝金の支払い・処理・次年度継続確認(2/28) ①広報ましこお知らせ版下半期にスクールガード募集案内掲載(3/10) ①広報配布時自治会回覧にてスクールガード募集案内チラシ配布(3/31) ①令和5年度地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金実績報告提出(3/5)				

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第 1 四 半 期</p>	<p>①令和5年度のスクールガード数は58名、平均年齢は61歳である。 子や孫が新1年生でスクールガードに加入する方が多い。引き続き新規登録者確保に取り組んでいく。 益子町内4小学校1日入学時に、全保護者宛に新規募集案内通知を配布予定。</p>
<p style="text-align: center;">第 2 四 半 期</p>	<p>①益子町通学路安全対策推進協議会を次期四半期に開催予定。各校に危険箇所についての提出を依頼している。 協議会では、様々な立場の方に意見を聞き、通学路の現状把握に努めたい。</p>
<p style="text-align: center;">第 3 四 半 期</p>	<p>①11月9日、令和5年度益子町通学路安全対策推進協議会を開催。 今年度新たに申請のあった6箇所の現場検証を実施。その後、事業主体を中心に対策内容を協議した。 また、昨年度までに視察・対策検討済みの64箇所について、事業主体ごとに現時点での対策進捗状況報告を行い情報共有ができた。 様々な立場の方々による意見交換は大変役に立ち、通学時の現状詳細を十分に把握することができた。</p>
<p style="text-align: center;">総 括 ( 第 4 四 半 期 含 )</p>	<p>①2月中旬の各小学校入学説明会時に、新規スクールガードの勧誘チラシ配布を実施。また3月末の町広報、各自治会回覧にて勧誘チラシを配布し周知活動に努めた。 新規加入者を確保するため、今後も周知活動を行っていく。</p> <p>①益子町通学路安全対策推進協議会 対策一覧表・対策箇所図について、2月8日に公表。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>継続性について                      A:このまま継続 ○                      B:改善・見直し                      C:廃止・終了</p> <p>意見・提言                      引き続き、子供たちの安全を守る取り組みの継続に期待する。</p>	<p>引き続き、スクールガードリーダーと連絡を取り合い、情報を連携し児童生徒の安全確保に努めたい。                      スクールガード新規登録者を増やすことで、地域の安全を守る取り組みにつながるため、スクールガードの周知活動に努めたい。</p>